

（一頁よりつづき） て将来のコミュニケー

て将来のコミュニケーションの接点が出来たことだ。」と言つたが、このシンポジウムで一、二特に印象に残つた事は、

象に残った点をあげておくる。
或日本の紙漉代表が、「需要と
供給との関係から云つたら、三百
人位に減ってくれるのが良いのだ
」と云つたことが私にとって一つ

句 双 紙

考
苗
憲
生

江戸時代に盛んに開板せられた
籍は、宗門七部録と呼ばれて、

門仮名法語であつた。宗門七部録は、宗門第一書といわれた『碧巖集』をはじめ、『高齋音釋』、『大慈普

『虚堂錄』『五家正宗贊』『禪儀外文集』『江湖風月集』であり、これらの禅書は禅僧の参考弁道のための

テキスト・専門書である。これら
の禪書に對して、禪門仮名法語、
たとえば『夢中問答集』二十三問

答『一休和尚法語』『一休骸骨』『月
菴和尚法語』『拔隊法語』『遠羅天釜
『夜游閑話』『宣安杖』『無難禪師法

『有聲開語』、『音指林』、『無聲音指』の三書と『法語』、『沢庵和尚法語』等は、一般在俗の信者の教養書・啓蒙書として、多くの人に喜んで貰つてゐる。

よく読まれて版を重ねている。さ
らに、宗門七部録、禪門仮名法語
とは違つて、表面的に大きく取り
上げられることの少ない、隠れた

今迄に調査した句双紙の写本で、最も古い原形態を示すものは、『語録集』「萩書抜書」である。

およそ百種類二百点余を調査した。現在所在が判明していく、未調査のものも十数点あるが、これらを通じて氣付いたことを、一記してみたい。

句の字数を以て分類配列された句集であり、禪門の初学が禪林の偈頌・語句を学習して詩作に、或いは入室參禪の便宜に資するためには編まれた実用書である。つまり、句双紙は童蒙のための禪入門書であつたといえる。

ペストセラーとして句双紙がある
句双紙は一名、禪林句集ともい
い、一字、二字、三字のごとく、
の三枚で以て金額を割り入れる

考
生
憲
苗
早

の驚きであった。それは数からのみ考えたことで、各地の紙の特殊性と又、紙漉を行つてゐる人々の様々の工夫、創意と云うものが失われて終うことになるのではない、又数が減る陥性を三百で食止められるか、と云つた不安を覚え明治の中頃には手漉和紙の製造家の数は六万八千戸あつ

たものが、今では五百戸位に減つて来て終つたと云う。去夏（昭和五四年）宮津市畠の井隼氏が紙漉きを終えると聞いて直ちに訪ねて、その体験談を録音したのであるが手漉職人が段々と消えて行くと云うのは氣の減入ることである。

又、アメリカ本土（遠くは東部マリーランドから来た者も居た）

ハワイからの参加者が、日本の参加者がわざわざ持参してくれた毎日新聞社の『手漉和紙大鑑』の中のサンプルを調べ、日本の紙漉の実演を見、そして日本側『紙漉代表』の指導の下に自分で漉いた結果、一人一人が発する驚嘆の声には心温まる思いがした。そして、彼等の眼は、まるでクリスマスの日

贈物をあけた時の子供の眼の輝きに似ていた。和紙は確かに美しい、本土の紙工芸家の指導を受けて作った「溜漉き」の紙は手取り早く、面白いが、和紙の美しさ、温かさ、深みには及ばない。そして、参加者達の多くは和紙を駆使して芸術作品の作成へと、夢、想像力を駆せていた。だから日本側参加

一字、二字等といった字数による句集であり、宗門葛藤集の部分は古則公案、機縁の語句・問答を集めたものである。これは宝永八年に雪潭風征が編した『宗統八祖伝』の東陽英朝伝の中で、「寔集」前後箭前箭世謂之句双紙盛行當時」とある、前箭・後箭のことであろうか。つまり、前箭が句双紙にあたり、後箭が宗門葛藤集に相当すると考えられる。事実、前箭という外題・内題をもつ句双紙がある。さらには『省數無尽集』(攢花集)

である。最初は句数もかなり少なかったが、いずれの写本にも巻初、巻末、欄外には諸書から抜萃された、おびただしい句が書き込まれており、これらの句が次第に集大成されていき、江戸初期板行の五千句あまりの句双紙が成立したと思われる。

字閥「収」から始まる、蓬左文庫
本『匁双紙』『省数無尽集』『前箭』
の系統に属する一本が開板せられ

て、匁双紙はこの時点で二応の定着を見るが、これ以後も江戸時代末期まで所収が出てるところ、若干

江戸期に開板せられた句双紙は、
の増補が加えられた。

寛永頃の古活字版（筆者未見）
寛永十七年西村又左衛門板、正保
二年同板、慶安三年板、万治一年

大和田九左衛門板、延宝八年武田



筆者紹介

京都外國語大学付属図書館長・教授
（元ハイ大学図書館学部教授）

勝兵衛板、元禄六年井上忠兵衛板、二軒板、元禄十年坂勘兵衛板、無刊記長村半兵衛、芋屋宗八板等がある。貞享五年の跋記を有する『増補首書禪林句集』は板元を代えて後世まで流布した。最初は古本屋清左衛門と小佐治半右衛門の合版で板行され、後には古本屋清左衛門と河南四郎右衛門、京都西堂、さらに柳枝軒小川多左衛門、松月堂小川源兵衛に引き継がれて板行された。また、別種の四ツ切本禪林句集は元文四年植村藤左衛門、門外二軒板と安政五年叢林書房柳同書の跋記に「貞享戊辰正月齋日、洛橋巽陽山草己子謹識」とあるのみで編者は判明しないが、延宝三年、元禄五・九・十二年、宝永六年、正徳五年の書籍目録には「禪林句集増補　虚白」(禪林句集首書　祖実)とあり、『増補首書禪林句集』(四巻二冊乃至四冊)は虚白、祖実が句を増補し、出撋を博考証して頭注を付したことことが知られる。この虚白、祖実というものは毛利貞齋の号であろうか。彼の詳しい事績はよく分からぬが、(諸家人物誌に略伝をのせる)貞享五年本の跋文によれば、彼は一時、禅門に入つたが、本意叶わずして儒に復帰した。かかる禅門と

がために本書を刊行するものでもない。また、彼は禪林句集の續編として「禪門金屑新句双紙」(五卷二冊乃至四冊)を編纂刊行した。本書は広く外典から集句したもので、本来の「禪林句集」という主題から外れていたためか、あまり世に行なわれなかつた。

最後に無著道忠と句双紙についてふれておこう。

宝曆四年書籍目録に「禪林句集無著二冊」が登載されている。これは元文四年に板行された「無著道忠の跋記を有する禪林句集」ことである。ついで貞良書院板目録に、「花園無著和尚校正・撰補校謬禪林句集全二冊」と見える無著道忠は從来板行の句双紙が杆撰で、文字に誤りが多いのを概嘆し、各句の原典本拠に戻つて校訂を加えて板行したものであつた。その外、道忠は禪林句集の中から抜句して、各句の出典を考証した、『禪林句集弁』(前項の印影本は本と異に改変がある)で注記する「がる。さらには、自らも諸書から抜句して、『句聚』『語句集』を編集している。

まだ、種々様々な句双紙があると思う。自分が今迄に調査した句双紙の一端をここに述べた。大方の御教示をお願いする次第である。

寛永年間の
単音板本

- 私は寛永頃の版本が好きです。本版本を見るようになつて、まだ日本は浅いのですが、少し縦長の美濃版の大きさ、栗皮表紙、版心の意匠、そして字体等が醸し出す、調和のとれた美しさには、いつも魅了されます。五山版などほとんど実見する機会のない今日、私にとつて寛永版は、手にとることの出来る最も「本らしい本」と言えます。

そこで、これからその時代の本を見てゆく自分の参考にと思って作つたのが次の年表です。駒沢大学図書館昭和三十七年発行の「新纂裨籍目録」の中から、「寛永刊」とある二二九点を書き出し、その後、刊期年号のないものと「寛永二年」とあるのを除いた二八八点を、寛永元年から順にならべました。もとより短期間の遺付け仕事ですから、正確を期すべくもありません。けれども、実物を見る時に、何かの役に立つてくればナ、との淡い期待は抱いております。

寛永年間の 裨籍版本

(五山版覆刻)

○元亨秋書十五冊 寛永元年跋 刊 京都小嶋家富刊 駒大藏	○碧華集上巻十冊 古活字 大東急藏
○宗門正燈錄 愚堂重刊 森年表 ○桂菴和尚家法僊點 一冊 薩摩如竹散人刊 駒大藏	○寛経略疏注四冊 江戸古版本 ○天日中峰和尚廣錄三十卷十冊
○錦繡段抄 五冊 江戸古版本 ○四十二章經註 一冊 谷大藏 ○科註妙法蓮華經 上冊 宝蔵寺 ○版古活字 大東急藏 ○科註妙法蓮華經鈔 土二冊 阪 山版古活字 駒大藏	○臨済錄 一冊 古活字 駒大藏 ○臨済錄 一冊 駒大藏 ○黄菴祖德讚頌 一冊 寛永二年 ○無門閑鈔(春夕鈔) 二冊 正 大藏
○臨済錄 一冊 古活字 駒大藏 ○臨済錄 一冊 駒大藏 ○無門閑 一冊 正大藏 ○鷹門尉刊 活字本 積翠藏 ○天日中峰和尚廣錄 松ヶ岡藏 ○新編江湖風月集略註 二冊 活 字版 岩崎藏	○般若心經略疏顕正記 二卷二冊 ○寛永五年跋刊 松ヶ岡藏 ○錦繡段鈔 五卷五冊 京都中島 久兵衛刊 古活字 積翠藏 ○山谷黃先生大全詩註二十卷五 冊 京都大和田意園刊 彰考 ○南浦文集三卷二或二冊 ○天日中峰和尚廣錄 仏書解説大 平樂寺刊
○天日中峰和尚廣錄 書店 ○新編江湖風月集略註 一冊 中 島久兵衛刊 木活本 岸底藏 ○史記桃源鈔 十九卷三十冊 陰 活字 岡田藏 ○玄佐刊 古活字 安田藏 ○仏語心論 十冊 智徹刊 松ヶ	○寛永六年 ○錦繡段鈔 五冊 ○般若心經略疏顕正記 二卷二冊 ○寛永五年跋刊 松ヶ岡藏 ○新編江湖風月集略註 二冊 活 字版 岩崎藏 ○山谷黃先生大全詩註二十卷五 冊 京都大和田意園刊 彰考 ○南浦文集三卷二或二冊 ○天日中峰和尚廣錄 仏書解説大 平樂寺刊
○偃暉仏智裨師語錄 一冊 活字 ○城西聯句 二冊 古活字本資料 ○無門闇鈔(春夕鈔) 二冊 活	○寛永五年 ○碧華集上巻十冊 古活字 大 東急藏 ○寛経略疏注四冊 江戸古版本 ○天日中峰和尚廣錄三十卷十冊 ○成實藏 ○四庫講式 高大藏 ○寛永四年 ○臨済錄 一冊 古活字 大東急 藏 ○寛永五年 ○碧華集上巻十冊 古活字 大 東急藏 ○寛永六年 ○寛永五年跋刊 松ヶ岡藏 ○新編江湖風月集略註 二冊 活 字版 岩崎藏 ○山谷黃先生大全詩註二十卷五 冊 京都大和田意園刊 彰考 ○南浦文集三卷二或二冊 ○天日中峰和尚廣錄 仏書解説大 平樂寺刊
○寛永元年 本 江戸古版本 ○城西聯句 二冊 古活字本資料 ○無門闇鈔(春夕鈔) 二冊 活	○寛永五年 ○碧華集上巻十冊 古活字 大 東急藏 ○寛経略疏注四冊 江戸古版本 ○天日中峰和尚廣錄三十卷十冊 ○成實藏 ○四庫講式 高大藏 ○寛永四年 ○臨済錄 一冊 古活字 大東急 藏 ○寛永五年 ○碧華集上巻十冊 古活字 大 東急藏 ○寛永六年 ○寛永五年跋刊 松ヶ岡藏 ○新編江湖風月集略註 二冊 活 字版 岩崎藏 ○山谷黃先生大全詩註二十卷五 冊 京都大和田意園刊 彰考 ○南浦文集三卷二或二冊 ○天日中峰和尚廣錄 仏書解説大 平樂寺刊

私の藏書(3)

「紅花園文庫」を訪ねて(後)

前号に引き続き

——数年前に内裏図に就ての論文を発表されたどうか、つまり、その内容の要點をお聞かせ願えませんか。

京都の内裏図に就ては過去充分な研究がなされていない為に蒐集される方々はたゞ因柄のみを見て、私はこれに就ても四分類してお

ますので、この分類方法で蒐められる非常に興味が出て面白いのではないかと思います。つまり、第一類としては禁裏御所のみを描き、その周辺の公卿町、町家等は総て省略されているという図です。第二類は禁裏御所とその周辺を含む図、つまり禁裏御所、仙洞御所、東山院の他に公卿町、一般の町家まで含めた現在「内裏図」と言わ

れる形態の図がこれにあたります。第三類は内裏を省略した図、つまり公卿町の方を中心町家・寺院が描かれ禁裏御所、仙洞御所、東山院等がたゞ外形だけを線で囲み中は白地のまゝ御殿や庭が描かれていないものです。

第四類これは非常に珍しい図であ

りまして私はこれを「からくり」

のある図と言つておりますが、第一類と第二類をミックスした形で一般的の図の禁裏御所のところに「からくり」がほどこされています。御所にあたりますところに切込があり、一枚めくりますと下からも少し大きい禁裏御所の詳細図が出てくるわけです。

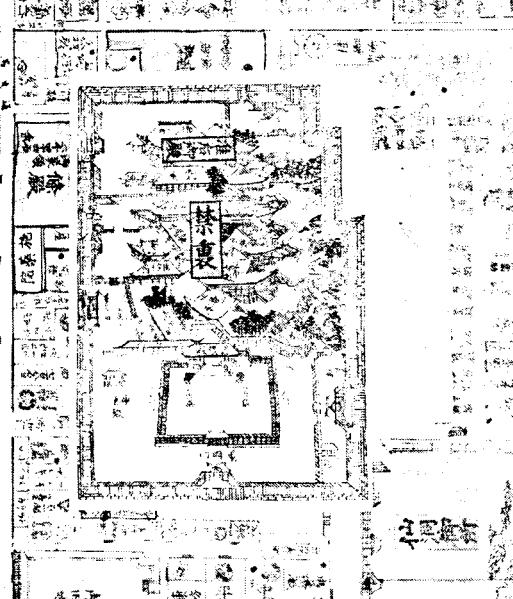
(写真版参照)

これらは手工芸の町、京都ならではの古地図であって、他の地方で地図の中から大きな地図が出てくるというようなものは殆んど見当らないのではないかと思います。

——成程、そうしますとこの第四類の「からくり」のある図というものは勿論唯一のものという訳ですね。

——そうです。他にはこのようないい図はありません。

——それでは今お話をあつた第一類から第三類に属する内裏図といふのは分類別にみると何種類位あるのでしょうか。



参考文献
(松尾正雄記)

内裏図の研究。紅花園文庫 (昭49)
京都市史地図編改訂ノート5 (昭49)

この類型の板本は延宝五年の林吉永板『新改内裏図』以来十数種發行されておりまして、内裏図の定

型として幕末まで続いている訳ですが、その間に寛政三年の『新改内裏図』や天保八年の清水谷藏板『禁闕内外全図』のように約三割

方大判になつたものや、幕末に数種發行された多色摺の内裏図が含まれるわけです。又第三類になり

ますと、天保八年の林朝朗板墨摺『御築内地内案内』というのと、慶応二年の三室戸殿藏板墨摺『雲上拔錦』の二種類があります。こ

れは定型的な内裏図に対し「異色板内裏図」と言つております。

更に付け加えますと先程申しまし

て、御所にあたりますところに切込があり、一枚めくりますと下から

らも少し大きい禁裏御所の詳細図が出てくるわけです。

(写真版参照)

これらは手工芸の町、京都ならではの古地図であって、他の地方で地図の中から大きな地図が出てくるというようなものは殆んど見当らないのではないかと思います。

——成程、そうしますとこの第四類の「からくり」のある図といふのは勿論唯一のものという訳ですね。

——そうです。他にはこのようないい図はありません。

——それでは今お話をあつた第一類から第三類に属する内裏図といふのは分類別にみると何種類位あるのでしょうか。

第一類に属するものとしては寛文二年の『禁中之御図』が唯一のものですが、第二類になりますと

た第二類の中の清水谷殿藏板『禁

闕内外全図』というのは内容的に

は三種類あります。一つは「京都

市史地図編』掲載のもの、一つは

藤田元春先生の『平安京遷史附古地図集』に掲載のもの、そして

も一つはこれ等の初版本と考えら

りますが、これは先程申しました

市史地図編掲載のところに朱印二種押印

したもので、この三種は其に刊記は天保八年となつておりますが

岡中の名称の相違点から年代的な考証を加えると、改刻後摺のあることが立証出来るわけです。そし

てこの清水谷殿藏板内裏図は又、

文久三年に再刻されまして柄は

天保八年板と同じですが、板本が再刻されその後また補刻されたの

ことは絶対的です。そこでこの清水谷殿藏板内裏図は又、

内容的には相違があり、これらを

又、全く同様で刊記のみ森田将監

板というのもありますし、これ等

岡奉膳板の一種であるわけです。

もあり二種類になるわけです。従

つてこの図は合計五種類あるとい

うことになります。

これと同じようなことが言えるも

のに、京都市史地図編で文久三年

板の池田奉膳板というのが出てお

りますが、これは先程申しました

第四類の「からくり」のある内裏

岡というのも、この文久三年の池田奉膳板の一種であるわけです。

又、全く同様で刊記のみ森田将監

板というのもありますし、これ等

岡奉膳板の一種であるわけです。

こういう説で、一般の本屋さん又

図書館や学者先生方が一種類とし

て扱つておられるものでも、まだ

まだその内容をよく検討されます

と、違つた図が沢山ありますので、

自分の眼で珍本珍圖を開拓されると、これからコレクションされるのに面白く、楽しさも増すので

はないかと思います。

——今日は長時間色々と貴重なお

話をありがとうございました。非

常にい勉強になりました。又の機会を楽しみにしております。

（松尾正雄記）

近世京都の本屋

七、寺町二条の本屋
(4)

書の販売で繁昌している若林春和堂は、江戸時代には出版活動もしていた店である。寺町通りには出でた店である。寺町通りには出版社・新刊本屋・古書店が点在しているが、御池通りから上で江戸時代から引つづいて営業しているのはこの店だけである。

若林は初代か若林国遠勢（おとこ）う郡今富村から出て、富小路の吉田屋に奉公したという。のちに独立して二条通り富小路西入るに店を構えた。若山茂助という。現在知られる最古の出版は「分類二十四孝」一巻で、天保十四年刊行。これは五軒の本屋の相合板で若山屋はその一軒である。天保十五年正月には「詩禮階梯」という四冊の詩書を出していることが御趣意中板行御赦免書目」に見える。若林正治氏に「吾家の由来」と「日本古書通信」蒐集の思い出（「昭和五四年三月号」というエッセイがある。その中に更に次のよう書いて居られる。長文だが引うに書いて居られる。長文だが引
用する。

「その後、広瀬元恭の時習堂の本を出版している。『築城新法』

うです。私の方は兄の方の系統で専ら医学書、新本、教科書を扱い、弟の政吉の方は古書を扱つたようです。明治二十四年に二条富小路より寺町二条の現在地に移り、間もなく(?)寺町の御池にも店を構え、政吉は専ら此所で古書を扱い、店の人は當時、北・南と仕事に応じて用事をしていたものと思われます。兄茂助の方は既に吉田に移転していた三高の漢文の教科書や、第一高等女学校の裁縫の教科書等を出版していました。一方、政吉の方は近江路や若狭路に買い出し人を送り、当時としては多少高価に買いついていた由、それで品物も随分集まつたので

る。出版物の最古のものは天保十一年(一八四三)といふから、今は約大凡四十年前である。

京阪電車丹波橋駅前にある春和堂の伏見店の主人が前掲の若林氏正治氏、その稀書のコレクションは古書好きの人々のまあねく知るところである。幕末の洋学書、木活字本をはじめ、書籍目録その他出版史の貴重な資料を數多く所蔵される。筆者が出版史の研究を進めることができたのは若林氏のおかげである。氏と私との共編になる『近世京都出版資料』は從来湮滅されたといわれていた江戸時代の京都本屋仲間の文書を初めて活字にして世に紹介したものであつて、近世出版文化史研究に不可欠の資料集のはずである。

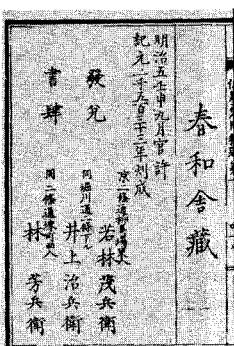
また、最近発行された反町茂氏著の『天理図書館の善本稀書』に「天下一本召し上げられ記」という一章がある。これは、西鶴が三十四歳延宝三年に妻をなくした時に作った追善俳諧集で、これによつて知めて西鶴の妻のことが判明し、かつ、その頃の俳友が知られるという貴重な資料であるが、天下にただ一本というものである。これもとはといえば若林正治氏が入選されたものであつた。

八、菊屋喜兵衛の西川絵本
江戸中期、京都の最も名が高かつた風俗絵本の画家は西川祐信である。祐信の絵本は方々の本屋から出版されたが、なかんずく、菊屋喜兵衛の店から最も多く刊行されたのである。この菊屋は寺町通り松原下る町に店があつた。この店で出した祐信の最初の風俗絵本は『絵本答話鑑』(とうわかがみ)三巻で、享保十四年(一七二九)刊行である。そののち、『絵本喩草』(たとえぐさ)、『女風俗玉鑑』・『絵本清水の池』・『絵本玉かづら』・『絵本海士の幸』(あまのかずら)と続く。以下、祐信はこの店から絵本を合計二十一点刊行している。

等である。又、新宮家(医者)の本も出版しており、『仁厚乳内科則』二冊の奥に春和社説があり、春和社説という印のあるものもある。之が吾家の春和堂と云うのに関係があるのでないかと思ひます。他には『婦人病論』前後六冊、『近世名医伝』等にもその名が出て来ます。初代茂助には男子が二人あり、兄代茂助には男子が一人あります。

初代は六十三歳で没し、二代目は十六歳で跡を継ぎ、明治維新になつた。学校教科書の販売で有名な店であ

太郎さんに行
つた題簽付き
美本『好色五
人女』や蘇峰
が求めたとい
う『上正坂論



舊稿、同僚義警學問社筆記能發幸存
大醫家、素心七十人命ノ存保ニ猶也所
二ノ医業、素心十人命ノ存保ニ猶也所
人良法、當ニシテシテ得不レシ。此
レノ體、尤幸、許ナシ所ノリ。醫學、學
科次第也。地理、大ニヨリ。草木花蟲
生、人畜病、松樹米穀、原石金石、利
毛、人畜病、松樹米穀、原石金石、利

(上) 仁里里內科則 (下) 医学大意



卷之三	水	水	水
水	水	水	水
水	水	水	水
水	水	水	水
水	水	水	水

〈下〉 医学大意

○参考文献—『日本出版大観

昭和5年10月刊



(上) 絵本十寸鏡

(下) 絵本真葛が原

この菊屋は今井氏、屋号は菊秀軒、宝永年間に開業して、明治まで続いた草紙屋である。小説本では江島其磧作の、商家の手代を主人公にした「世間手代氣質(せけんてだいかたぎ)」を享保十五年に出版している。其磧は何といつても享保年間、最も売れた小説作者で、この頃は八文字屋八左衛門という草紙屋から主としてその作品は出版していたから菊屋喜兵衛のことである。

店から彼の小説が出るのは異例の絵本とほどのようなものであるか、

この菊屋が出版した西川祐信の

絵本とほどのようなものであるか、

（けうくん）を切（せち）になし侍りぬ。

(1) 『絵本十寸鏡(ますかがみ)』
三巻

延享戊辰正月 藤敬亭撰

とあって、敬亭の文章に、祐信の画を添えたもの。なお内題に「女一代風俗」と角書(つのがき)がある。女性の少女時代から年頃になり、種々の年中行事、ひな遊び、七夕などを楽しみ、はたおり、洗い物、きぬたの業、親への孝行、遊芸事、化粧を仕習い、やがて、見合いをして、結納あり、婚礼の支度、婚礼、あいさつ廻り、妻としての仕事、しゅうと・しゅうとに仕えること、やがて懷妊、出

産、子の神詣り、百二十日の喰初(くいぞめ)、三歳の髪置き、袴着までを絵で解説する。女性の風俗一代記絵本である。見合いのページを掲げておこう。江戸中期の見合いの一例である。茶店の床几に男が腰かけ、女が笠をかぶって道をやつてくる、というところである。本文の上部の説明書きを読んでおく。

『顔容(かほかたち)』とて顔半(かほばかり)いつくしくても、とりなりあしければ見ぐるし。面(かほ)の生まれつきあしくとも、品(しな)よくとりつくろへば、やさしく思(おも)はる。それもありに俳優唱女(かぶきあそびもの)のごとくばけ(しきはあしし。嫁(よめ)にむかへられんとの撰(えらみ)にあひながら、風俗けうとして、縁組やめられたらんは、いかに恥(はづ)かしき事也。十人ほしがりのあいきやうをよく(心得(こころへ)給ふべきなり)』

女性は顔かたちというが、顔は美しくても風体が悪ければいけません。顔は生まれつきのもの、品よくすればよくなります。はでないのはいけません。見合いでヘアスタイルや服装で判断されことわられるのは恥です。皆から欲しが大切です、というわけ。

この菊屋は今井氏、屋号は菊秀軒、宝永年間に開業して、明治まで続いた草紙屋である。小説本では江島其磧作の、商家の手代を主

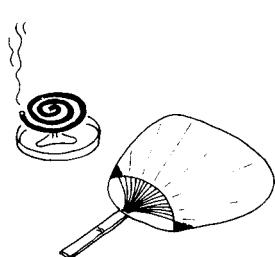
(1) 『絵本十寸鏡(ますかがみ)』
三巻

(2) 『絵本真葛が原(まくずがはら)』
三巻

東山まくずが原に住む虫類、三十種を二つずつ対にして、それぞれの歌を作り、合わせたものの絵本である。十五番虫歌合絵本といべきもの。蝶・蜂・蟻(あり)・毛虫・こうろぎ・はたおり・かたつむり・あしまとい(針金虫)・みの虫・芋虫・くつわ虫・かまきり・いと・みみず・松虫・鈴虫・むかで・ひぐらし蟬のみ・蚊・蠅・しらみ・蛭(ひる)・けら・こがね虫・蟬・虫・あぶ・くも・くちなわ、それに蛙が加わる。

のみの歌は、心には飛びたつばかり思へどもいつも君にはいとはるのみしらみの歌は、しらじらしらみあひたるあかつきは君が床よりすてらるるかな

(龍谷大学教授)



古書研究だより

秋の「古本まつり」

日程決まる

すっかりおなじみになつた古書研主催百万辻「古本まつり」の日程が決定。

古本供養

十一月一日(土)午前〈百万遍知恩寺〉

青空古本市

十一月一日(土)二日(日)

三日(祝)

〈知恩寺境内参道〉
古本供養には、愛書家、読書家の皆様のご不要になつた本を

古本用語

二枚札 入札
(次項参照)で

二種類の価格(上記入札)と廻し(入札)を記入すること。競争がなければ下札(即ち安い

札(高札)・下札)を置くこと。競争がない場合は下札(即ち安い

札)で落札するが上札と下札の間に他者が入れば(これを「かまれる」という)上札の値で落札する。さらに、一定価格以上を入札する場合に三枚札、四枚札が許される。上・下を離すと、「わざかかまれただけで上札になるし、差がないと安値の意味がない。入札値を決めたあとプロの本量を問われるところだ。にゅうさつ(入札) 書物に附い

ている封筒に価格を書いて投票し最高値のものに落札させる方法。置(入札)と廻し(入札)の二方法があり、全集などの力記入すること。競争がない場合は下札(即ち安い札)で落札するが上札と下札の間に他者が入れば(これを「かまれる」という)上札の値で落札する。さらに、一定価格

以上を入札する場合に三枚札、四枚札が許される。上・下を離すと、「わざかかまれただけで上札になるし、差がないと安値の意味がない。入札値を決めたあとプロの本量を問われるところだ。にゅうさつ(入札) 書物に附い

供えていただき、書物のもつ文化に感謝の念をもつて法要を行います。供要の済んだ本はチャリティーオークションで再び別の愛書家の手へ渡り息を吹きかえします。

オーバンションの純益金は、次の世代を荷う子供達に十分本に親しんでもらうため、児童図書購入基金として京都市立図書館に寄贈いたします。

ご蔵書のお整理の際、ご不用な本がありましたらこの古本供養にご提供下さいますようお願い致します。

二世の活躍が目ざましい大阪の古書業界に古書組合青年部が誕生。名づけて「翔の会」(代表加藤哲也氏)。これより一足先に若手の市会

「農書会」(代表天牛高志氏)が誕生しており活発な交換会取引を続

けています。

——

ほうそうし(包装紙)古書を包む紙とはいえ、なかなか凝ったものもある。東京崇文堂のケルムスコット版や大阪萬葉屋のオルテリウスの古地図をアレンジし

たものなどその書店の風貌がうかがわれる。欧洲の本屋ではパ

ルプの様に長く巻いた紙を切りとつて包んでくれる。

にしきえ(錦絵)浮世絵版画の一種。古書の世界でも国際的に根強い人気のある分野。作者だけなく摺の良否、図柄、判の大

小、保存などによって価格の差

がでる。良い作品を手にとつて多くさん見ることが眼力

を養う。

古書研勉強会「異人浮世絵」とちりめん本展を見学

また青空古本市も前回よりも一層充実した内容で開催出来るよう会員店夫々に今から品揃えに奮斗中。

ほかにも楽しい催しを企画してあります。供要の済んだ本はチャリティーオーバンションで再び別の愛書家の手へ渡り息を吹きかえします。

オーバンションの純益金は、次の世代を荷う子供達に十分本に親しんでもらうため、児童図書購入基金として京都市立図書館に寄贈いたします。

大阪古書組合に

青年部誕生

二世の活躍が目ざましい大阪の古書業界に古書組合青年部が誕生。名づけて「翔の会」(代表加藤哲也氏)。これより一足先に若手の市会

「農書会」(代表天牛高志氏)が誕生しており活発な交換会取引を続

けています。

——

ほうそうし(包装紙)古書を包む紙とはいえ、なかなか凝ったものもある。東京崇文堂のケルムスコット版や大阪萬葉屋のオルテリウスの古地図をアレンジし

たものなどその書店の風貌がう

かがわかる。欧洲の本屋ではパ

ルプの様に長く巻いた紙を切りとつて包んでくれる。

にしきえ(錦絵)浮世絵版画の

一種。古書の世界でも国際的に根

強い人気のある分野。作者だけ

なく摺の良否、図柄、判の大

小、保存などによって価格の差

がでる。良い作品を手にとつて多くさん見ることが眼力

を養う。

第五回京都丸善古書展示即売会 即売会

層充実した内容で開催出来るよう

九月十八日~九月二十二日(日曜休)

古書研勉強会の一つとして、古書研勉強会「異人浮世絵」とちりめん本展を見学

今春新設の京都外国语大学国際交流会館で催された「異人浮世絵とちりめん本」展を見学。講師として浮世絵版鑑定の第一人者西春

三日(祝)

大阪古書組合に

青年部誕生

二世の活躍が目ざましい大阪の古書業界に古書組合青年部が誕生。名づけて「翔の会」(代表加藤哲也氏)。これより一足先に若手の市会

「農書会」(代表天牛高志氏)が誕生しており活発な交換会取引を続

けています。

——

ほうそうし(包装紙)古書を包む紙とはいえ、なかなか凝ったものもある。東京崇文堂のケルムスコット版や大阪萬葉屋のオルテリウスの古地図をアレンジし

たものなどその書店の風貌がう

かがわかる。欧洲の本屋ではパ

ルプの様に長く巻いた紙を切りとつて包んでくれる。

にしきえ(錦絵)浮世絵版画の

一種。古書の世界でも国際的に根

強い人気のある分野。作者だけ

なく摺の良否、図柄、判の大

小、保存などによって価格の差

がでる。良い作品を手にとつて多くさん見ることが眼力

を養う。

——

ほうそうし(包装紙)古書を包む紙とはいえ、なかなか凝ったものもある。東京崇文堂のケルムスコット版や大阪萬葉屋のオルテリウスの古地図をアレンジし

たものなどその書店の風貌がう

かがわかる。欧洲の本屋ではパ

ルプの様に長く巻いた紙を切りとつて包んでくれる。

にしきえ(錦絵)浮世絵版画の

一種。古書の世界でも国際的に根

強い人気のある分野。作者だけ

なく摺の良否、図柄、判の大

小、保存などによって価格の差

がでる。良い作品を手にとつて多くさん見ることが眼力

を養う。

——

ほうそうし(包装紙)古書を包む紙とはいえ、なかなか凝ったものもある。東京崇文堂のケルムスコット版や大阪萬葉屋のオルテリウスの古地図をアレンジし

たものなどその書店の風貌がう

かがわかる。欧洲の本屋ではパ

ルプの様に長く巻いた紙を切りとつて包んでくれる。

にしきえ(錦絵)浮世絵版画の

一種。古書の世界でも国際的に根

強い人気のある分野。作者だけ

なく摺の良否、図柄、判の大

小、保存などによって価格の差

がでる。良い作品を手にとつて多くさん見ることが眼力

を養う。

——

ほうそうし(包装紙)古書を包む紙とはいえ、なかなか凝ったものもある。東京崇文堂のケルムスコット版や大阪萬葉屋のオルテリウスの古地図をアレンジし

たものなどその書店の風貌がう

かがわかる。欧洲の本屋ではパ

ルプの様に長く巻いた紙を切りとつて包んでくれる。

にしきえ(錦絵)浮世絵版画の

一種。古書の世界でも国際的に根

強い人気のある分野。作者だけ

なく摺の良否、図柄、判の大

小、保存などによって価格の差

がでる。良い作品を手にとつて多くさん見ることが眼力

を養う。

——

ほうそうし(包装紙)古書を包む紙とはいえ、なかなか凝ったものもある。東京崇文堂のケルムスコット版や大阪萬葉屋のオルテリウスの古地図をアレンジし

たものなどその書店の風貌がう

かがわかる。欧洲の本屋ではパ

ルプの様に長く巻いた紙を切りとつて包んでくれる。

にしきえ(錦絵)浮世絵版画の

一種。古書の世界でも国際的に根

強い人気のある分野。作者だけ

なく摺の良否、図柄、判の大

小、保存などによって価格の差

がでる。良い作品を手にとつて多くさん見ることが眼力

を養う。

——

ほうそうし(包装紙)古書を包む紙とはいえ、なかなか凝ったものもある。東京崇文堂のケルムスコット版や大阪萬葉屋のオルテリウスの古地図をアレンジし

たものなどその書店の風貌がう

かがわかる。欧洲の本屋ではパ

ルプの様に長く巻いた紙を切りとつて包んでくれる。

にしきえ(錦絵)浮世絵版画の

一種。古書の世界でも国際的に根

強い人気のある分野。作者だけ

なく摺の良否、図柄、判の大

小、保存などによって価格の差

がでる。良い作品を手にとつて多くさん見ることが眼力

を養う。

——

ほうそうし(包装紙)古書を包む紙とはいえ、なかなか凝ったものもある。東京崇文堂のケルムスコット版や大阪萬葉屋のオルテリウスの古地図をアレンジし

たものなどその書店の風貌がうかがわれる。欧洲の本屋ではパルプの様に長く巻いた紙を切りとつて包んでくれる。

にしきえ(錦絵)浮世絵版画の一種。古書の世界でも国際的に根強い人気のある分野。作者だけなく摺の良否、図柄、判の大

小、保存などによって価格の差がでる。良い作品を手にとつて多くさん見ることが眼力

を養う。

——

ほうそうし(包装紙)古書を包む紙とはいえ、なかなか凝ったものもある。東京崇文堂のケルムスコット版や大阪萬葉屋のオルテリウスの古地図をアレンジし

たものなどその書店の風貌がうかがわれる。欧洲の本屋ではパルプの様に長く巻いた紙を切りとつて包んでくれる。

にしきえ(錦絵)浮世絵版画の一種。古書の世界でも国際的に根強い人気のある分野。作者だけなく摺の良否、図柄、判の大

小、保存などによって価格の差がでる。良い作品を手にとつて多くさん見ることが眼力

を養う。

——

ほうそうし(包装紙)古書を包む紙とはいえ、なかなか凝ったものもある。東京崇文堂のケルムスコット版や大阪萬葉屋のオルテリウスの古地図をアレンジし

たものなどその書店の風貌がうかがわれる。欧洲の本屋ではパルプの様に長く巻いた紙を切りとつて包んでくれる。

にしきえ(錦絵)浮世絵版画の一種。古書の世界でも国際的に根強い人気のある分野。作者だけなく摺の良否、図柄、判の大

小、保存などによって価格の差がでる。良い作品を手にとつて多くさん見ることが眼力

を養う。

——

ほうそうし(包装紙)古書を包む紙とはいえ、なかなか凝ったものもある。東京崇文堂のケルムスコット版や大阪萬葉屋のオルテリウスの古地図をアレンジし

たものなどその書店の風貌がうかがわれる。欧洲の本屋ではパルプの様に長く巻いた紙を切りとつて包んでくれる。

にしきえ(錦絵)浮世絵版画の一種。古書の世界でも国際的に根強い人気のある分野。作者だけなく摺の良否、図柄、判の大

小、保存などによって価格の差

がでる。良い作品を手にとつて多くさん見ることが眼力

を養う。

——

ほうそうし(包装紙)古書を包む紙とはいえ、なかなか凝ったものもある。東京崇文堂のケルムスコット版や大阪萬葉屋のオルテリウスの古地図をアレンジし

たものなどその書店の風貌がうかがわれる。欧洲の本屋ではパルプの様に長く巻いた紙を切りとつて包んでくれる。

にしきえ(錦絵)浮世絵版画の

一種。古書の世界でも国際的に根

強い人気のある分野。作者だけ

なく摺の良否、図柄、判の大

小、保存などによって価格の差

がでる。良い作品を手にとつて多くさん見ることが眼力

を養う。

——

ほうそうし(包装紙)古書を包む紙とはいえ、なかなか凝ったものもある。東京崇文堂のケルムスコット版や大阪萬葉屋のオルテリウスの古地図をアレンジし

たものなどその書店の風貌がうかがわれる。欧洲の本屋ではパルプの様に長く巻いた紙を切りとつて包んでくれる。

にしきえ(錦絵)浮世絵版画の

一種。古書の世界でも国際的に根

強い人気のある分野。作者だけ

なく摺の良否、図柄、判の大

小、保存などによって価格の差

がでる。良い作品を手にとつて多くさん見ることが眼力

を養う。

——

ほうそうし(包装紙)古書を包む紙とはいえ、なかなか凝ったものもある。東京崇文堂のケルムスコット版や大阪萬葉屋のオルテリウスの古地図をアレンジし

たものなどその書店の風貌がうかがわれる。欧洲の本屋ではパルプの様に長く巻いた紙を切りとつて包んでくれる。

にしきえ(錦絵)浮世絵版画の

一種。古書の世界でも国際的に根

強い人気のある分野。作者だけ

なく摺の良否、図柄、判の大

小、保存などによって価格の差

がでる。良い作品を手にとつて多くさん見ることが眼力

を養う。

——

ほうそうし(包装紙)古書を包む紙とはいえ、なかなか凝ったものもある。東京崇文堂のケルムスコット版や大阪萬葉屋のオルテリウスの古地図をアレンジし

たものなどその書店の風貌がうかがわれる。欧洲の本屋ではパルプの様に長く巻いた紙を切りとつて包んでくれる。

にしきえ(錦絵)浮世絵版画の

一種。古書の世界でも国際的に根

強い人気のある分野。作者だけ

なく摺の良否、図柄、判の大

小、保存などによって価格の差

がでる。良い作品を手にとつて多くさん見ることが眼力

を養う。

——

ほうそうし(包装紙)古書を包む紙とはいえ、なかなか凝ったものもある。東京崇文堂のケルムスコット版や大阪萬葉屋のオルテリウスの古地図をアレンジし

たものなどその書店の風貌がうかがわれる。欧洲の本屋ではパルプの様に長く巻いた紙を切りとつて包んでくれる。

にしきえ(錦絵)浮世絵版画の

一種。古書の世界でも国際的に根

強い人気のある分野。作者だけ

なく摺の良否、図柄、判の大

小、保存などによって価格の差

がでる。良い作品を手にとつて多くさん見ることが眼力

を養う。

——

ほうそうし(包装紙)古書を包む紙とはいえ、なかなか凝ったものもある。東京崇文堂のケルムスコット版や大阪萬葉屋のオルテリウスの古地図をアレンジし

たものなどその書店の風貌がうかがわれる。欧洲の本屋ではパルプの様に長く巻いた紙を切りとつて包んでくれる。

にしきえ(錦絵)浮世絵版画の

一種。古書の世界でも国際的に根

強い人気のある分野。作者だけ

なく摺の良否、図柄、判の大

小、保存などによって価格の差

がでる。良い作品を手にとつて多くさん見ることが眼力

御注文は各書店へ

〒606 京都市左京区田中里ノ前町56

福田屋書店

電話 (〇七五) 七八一三三二六

1 中國の水煙袋と水於 (水煙袋の文化史)	昭30 四八〇〇
2 郊外 (タバコ特輯) (煙草の文化史)	大13 七五〇〇
3 パイプをくはへて (煙草の文化史)	大13 一五〇〇
4 煙草とパイプ (石川欣一 郊外社)	大14 二〇〇〇
5 マイレー・ディニコチ (石川欣一 箱入)	大14 四〇〇〇
6 煙草礼讃 (下田将美 郊外社)	大14 六五〇〇
7 紫煙 (馬場孤蝶 大阪屋号)	大14 六五〇〇
8 紫煙漫録 (和田饒説篇 専賣協会)	大14 六五〇〇
9 煙草通 (通雙書 石川欣一 四六書院)	大14 六五〇〇
10 煙草通 (時事新報社編輯)	大14 六五〇〇
11 花とパイプ (春山行夫 第一書房カバー欠)	昭11 三〇〇〇
12 煙草の科学 (仁尾正義 河出科学新書)	昭16 二五〇〇
13 にこちあなし (煙草考 (石崎重郎 東京書房)	昭33 四八〇〇
14 たばこ (喜多壯一郎 限定八百)	昭42 三五〇〇
15 たばこの本 (石崎重郎 求童堂)	昭42 三五〇〇
16 燐寸要覽 (永木広次 日本燐寸工業会)	昭42 三五〇〇
17 鉄路双書 (鉄路地方医学史 辻見啓治)	昭42 三五〇〇
18 同 (鉄路佐藤直太郎郷土研究論文集)	昭43 三五〇〇
19 同 (鉄路文学運動史 (昭和篇) 鳥居省三)	昭43 三五〇〇
20 同 (日鑑記) (国泰寺とその周辺)	昭43 三五〇〇
21 同 (中央公論社 美)	昭44 三五〇〇
22 同 (夷斎小識 初版 石川淳)	昭45 三五〇〇
23 詩への旅詩から (辻邦生 内田百間)	昭46 三五〇〇
24 蒼白の飢餓 (井上光晴 創樹社 帯美)	昭47 一五〇〇
25 悲の器 (高橋和己 河出書房)	昭47 一五〇〇
26 鬼園の琴 (高橋正人 内田百間)	昭48 一五〇〇
27 日本のしるし (日本のしるし)	昭48 一五〇〇
28 ファッションと風俗の70年 (鈴木尚記)	昭48 一五〇〇
29 世界の民藝 (浜田庄司岸沢鉢介他)	昭48 一五〇〇
30 四國のおもちゃ (岸沢鉢介監修)	昭49 一五〇〇
31 誰える昭和ロマン (ロマンムック① 小学館)	昭50 一五〇〇
32 江戸の舶来風俗誌 (小野武雄編 展望社)	昭51 一五〇〇
33 染織の旅 (鈴田照次 芸艸堂)	昭52 一五〇〇

〒602 京都市上京区烏丸通上御靈前下る
上御靈前町四一二二

萩書房

電話 (〇七五) 四三二一七二二

出町店 〒602	上京区河原町通今出川上ル
衣笠店 〒603	北区西大路通平野神社北隣
	電話 (〇七五) 四五八一三三三七

1 書物展望 (15号～155号迄)	昭16 一九〇〇、〇〇〇
2 S·Fマガジン (創刊号)	早川書房 七〇〇〇
3 別冊クイーンマガジン (創刊号)	早川書房 二、五〇〇
4 動物詩集 (初版)	城口大学撰 (第一書房)
5 空しき花束 (初版)	燃口大学撰 (第二書房)
6 散人偶記 (初版)	佐藤春大著 (第三書房)
7 俳諧史の研究 (須原道藏著)	佐藤春大著 (第三書房)
8 秘められた彫刻集 (荒城泰夫著)	アシカ書房
9 茶室と茶庭 (保岡勝也著)	鎌倉書店
10 ラムバート現代音楽論 (大田黒元著)	鎌倉書店
11 日本赤十字社発達史 (川俣馨一著)	明44 四、〇〇〇
12 日本赤十字社京都支部沿革誌 (東京新開出版社)	明44 四、〇〇〇
13 日本染織商工史上中編三冊 (後卷欠)	明44 四、〇〇〇
14 京都府山林誌 (山と雲と蕃人と)	明44 四、〇〇〇
15 ロッククライミング (西蝦夷地日記)	明44 四、〇〇〇
16 わが山山 (初版 深田久彌著 改造社)	明44 四、〇〇〇
17 トレンカー雪山の生活者 (新装版)	明44 四、〇〇〇
18 山! (初版)	明44 四、〇〇〇
19 静かなる登攀 (太閤秀吉)	明44 四、〇〇〇
20 西蝦夷地日記 (田草傳次郎)	明44 四、〇〇〇
21 求龍堂 (カバ一付)	明44 四、〇〇〇
22 太閤秀吉 (カバ一付)	明44 四、〇〇〇
23 間宮林藏 (佐々木千之著)	明44 四、〇〇〇
24 至玄社 (カバ一付)	明44 四、〇〇〇
25 樹 (散文) (カバ一付)	明44 四、〇〇〇
26 勝海舟 (田中惣五郎著)	明44 四、〇〇〇
27 明治外交秘話 (小松義著)	千倉書房 カバ一付
28 直心影流極意 (石垣辰雄著)	函付 昭15 二、五〇〇
29 吉田松陰 (秋村敏雄著)	函付 昭15 二、五〇〇
30 景岳橋 (本左内著)	函付 昭15 二、五〇〇
31 滋賀貞著 (武蔵野書院)	函付 昭15 二、五〇〇
32 千倉書房 (函付)	函付 昭15 二、五〇〇
33 蒙古 (山本實彦著)	函付 昭15 二、五〇〇
34 改造社 (函付)	函付 昭15 二、五〇〇
35 真宗研究第一輯 (函付)	函付 昭15 二、五〇〇
36 顕如上人傳 (宇野本空著)	函付 昭15 二、五〇〇
37 傳教大師全集全五冊 (函付)	函付 昭15 二、五〇〇

2 北村初雄 初版本 三点一括
『正午の果實』

大正九年十一月、家蔵板 (限定百部) として発行。菊判上製函入。巻頭著者遺影一葉、碑銘 (著者筆蹟) 一葉、序 (北村七郎)

四頁、本文一〇七頁、跋 (熊田精華) 六頁、樹 (散文) 二五頁、後記二頁、目次五頁。

「永遠の歓喜よりも、歓喜の永遠化を。」

『樹』

大正十二年二月、北村家家蔵限定本 (二百部) として発行。菊判上製函入。巻頭著者遺影一葉、碑銘 (著者筆蹟) 一葉、序 (北村七郎) 四頁、本文一〇七頁、跋 (熊田精華) 六頁、樹 (散文) 二五頁、後記二頁、目次五頁。

『北村初雄詩集』

大正十一年四月、稻門堂書店より発行。

以上、三點共、極美本一括

¥ 二〇〇、〇〇〇

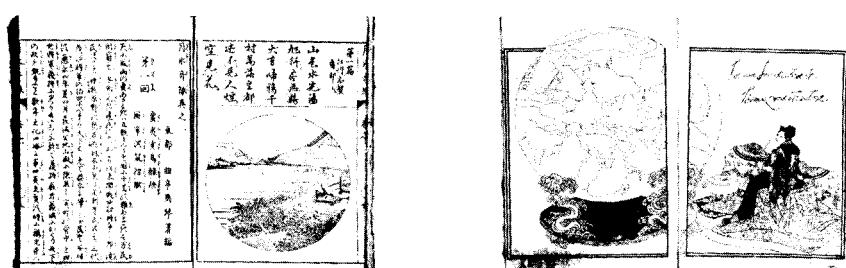
〒602
京都府京都市上京区烏丸通今出川上ル
同志社正門前
沢田書店

〒
606
京都府京都市左京区一乗寺里ノ前町24
振替京都三二二〇八九

御注文は各書店へ

左記すべて、天地六寸、折本仕立てのお経。	郵送料……各々百二十円。
1般若心經	電話 (○七五) 一三一―九七一
2觀音經	振替 京都 五三八
3禪林日課	3 川合山月と明治の文学者達 正統 川合道雄 昭32 三、〇〇
4白鳥隨筆集	2 山月子回顧ノート 正統 川合道雄 昭40 一、二〇
5因はれたる芸文	1 綱島梁川の宗教と芸文 正統 川合道雄 昭48 一、二〇
6日本の短詩形文学	3 青海波 夏の夢 日本の面影 正統 川合道雄 昭23 一、二〇
7文学論	4 白鳥隨筆集 岩谷抱月著作集 昭23 一、二〇
8文学その折々	5 因はれたる芸文 長谷川如是閑 昭23 一、二〇
9研学双書	6 日本の短詩形文学 阿部知二 昭18 一、二〇
10山月子回顧ノート	7 文学論 函入 昭13 一、二〇
11白鳥隨筆集	8 文学その折々 阿部知二 昭13 一、二〇
12頬朝	9 研学双書 山水小景 初版 坪内遙明 昭27 一、二〇
13寂しき路	10 青海波 河井醉茗編 昭32 一、二〇
14西條八十童謡全集	11 夏の夢 日本の面影 初版 松謙澄 昭38 一、二〇
15彼女の貞操	12 頬朝 初版 長与善郎 昭39 一、二〇
16哀しき父	13 寂しき路 初版 少賀 加能作次郎 昭40 一、二〇
17由利旗江	14 西條八十童謡全集 初版 少賀 新潮社 昭40 一、二〇
18人間最後の姿	15 彼女の貞操 初版 少賀 新潮社 昭40 一、二〇
19石田三成	16 大陸遊吟 初版 少賀 新潮社 昭40 一、二〇
20前篇	17 人間最後の姿 初版 少賀 新潮社 昭40 一、二〇
21母と兄と子	18 石田三成 初版 少賀 新潮社 昭40 一、二〇
22盤嶽の一生	19 大陸遊吟 初版 少賀 新潮社 昭40 一、二〇
23得能物語	20 母と兄と子 初版 少賀 新潮社 昭40 一、二〇
24相馬御風	21 盤嶽の一生 初版 少賀 新潮社 昭40 一、二〇
25わが町	22 得能物語 初版 少賀 新潮社 昭40 一、二〇
26北畠親房	23 相馬御風 初版 少賀 新潮社 昭40 一、二〇
27北畠親房公景伝	24 相馬御風 初版 少賀 新潮社 昭40 一、二〇
28山鹿素行先生伝	25 相馬御風 初版 少賀 新潮社 昭40 一、二〇
29靖融遺言精義	26 相馬御風 初版 少賀 新潮社 昭40 一、二〇
30維新史話快傑大西郷	27 相馬御風 初版 少賀 新潮社 昭40 一、二〇
31杉浦重剛先生	28 相馬御風 初版 少賀 新潮社 昭40 一、二〇
32南進の先駆者菅沼貞風伝	29 相馬御風 初版 少賀 新潮社 昭40 一、二〇
33岩波書店	30 相馬御風 初版 少賀 新潮社 昭40 一、二〇

10御嶽山動行集	八〇〇円	10御嶽山動行集	八〇〇円
御膳神酒祝詞、神呼、一切成就祓、天地清淨祓、身曾 貴大祓、天津祝詞、最要祓、中臣祓、六根清淨大祓、 三條錫杖、五体加持、仏神号、九字護身法、八大童子、 心経、火界咒、慈救咒、一字咒、大金剛輪陀羅尼、一 字金輪真言、他。		御膳神酒祝詞、神呼、一切成就祓、天地清淨祓、身曾 貴大祓、天津祝詞、最要祓、中臣祓、六根清淨大祓、 三條錫杖、五体加持、仏神号、九字護身法、八大童子、 心経、火界咒、慈救咒、一字咒、大金剛輪陀羅尼、一 字金輪真言、他。	
11		11	
12		12	
13		13	
14		14	
15		15	
16		16	
17		17	
18		18	
19		19	
20		20	
21		21	
22		22	
23		23	
24		24	
25		25	
26		26	
27		27	
28		28	
29		29	
30		30	
31		31	
32		32	
33		33	
34		34	
35		35	
36		36	
37		37	
38		38	
39		39	
40		40	



A 復讐小説 月氷奇縁 曲亭馬琴 40,000円
享和三年序 絵入 五巻合本

B 無飽三才図会
文政四年刊
幻花情史・暁鐘成
65,000円
三巻
三巻
絵入 合本一冊
つかれ本

其

中

堂

藤原北御所書房

〒604

京都市中京区寺町通り三条北

電話 (○七五) 二四一―五九八
振替 京都 一、一、一、七、六、九、五

〒602

京都市上京区今出川通り寺町西入ル

〒600 京都市下京区七条通堀川角
電話 (○七五) 三六一―七六九、五
振替 京都 一、一、一、七、六、九、五

谷

書

店

下
604

京都市中京区丸太町通千本西入南側

八書店古書部

電話(〇七五)八一一一三八九〇

1	松花堂昭乘筆	布袋岡	宗甫贊一幅しみ有	
2	天皇制と輿論	林平馬	74頁	昭21
3	明治少女節用	巖谷小波外共編	明42	21
4	和歌八重垣	中村芳松編	明36	6
5	ドイツ版	更紗模様集	大9	5
6	研心錄	ヨギラマチャカ著(ヨガ哲學)	大13	云、西
7	立言11章	國政夜話	大8	云、西
8	理学的救命瓶療法の榮	中村松乃	大7	云、西
9	京都及附近修学旅行案内	川島元次郎	大4	云、西
10	西式強健術と觸手療法	西勝造創始	昭5	云、西
11	靈魂問答并導諭誦	円形記	天和3	云、西
12	新時代の尖端語辞典	長岡社	昭3	云、西
13	正信念仏偈文軌	江戸未刊	明41	45
14	現行三千字文	村田海石書	明41	45
15	戒法隨身記三帰章	上中下合本	貞享4	云、西
16	伊津岐社御神事奉燈句集	村岡社中写本	明治中	云、西
17	宮離形数寄屋離形武家離形	48棚計四冊	江戸中	云、西
18	萩江闇吟集	萩川臨風序文	大13	云、西
19	茹蒼御内の縁起	高野山麓仁徳寺	江戸末	云、西
20	二上り三下り娘道成寺作者松井	谷写本	文化13	云、西
21	前田利長觀	高岡市井上忠雄著并刊行	大13	云、西
22	香亭雅談(文士談)	中根淑著	大6	云、西
23	西国33靈場奉納絵(朱印押印帳)	芸苑叢書	昭和6	云、西
24	日溪學則	大津福賢寺写本	昭和6	云、西
25	菊花撰集於植物園菊花品評会選写真集	大6	云、西	
26	史料通信協会叢誌2・3編	江馬務	昭和6	云、西
27	園芸文庫2・3・5・6・12五冊	前田曙山	昭和6	云、西
28	白蠟洲卷一茶道書	大15	昭和6	云、西
29	中学世界増刊号	明7	云、西	
30	伊達政宗公肖像	明45	云、西	
31	大平洋の地殻運動構造地理学	江原真倍初版	昭20	云、西
32	ソビエト教育学の展開	矢川徳光	昭19	云、西
33	京二商30年史附西陣郷土說本	昭5	云、西	
34	昭和6	云、西		
35	昭和6	云、西		
36	昭和6	云、西		
37	昭和6	云、西		
38	昭和6	云、西		
39	昭和6	云、西		
40	昭和6	云、西		
41	昭和6	云、西		
42	昭和6	云、西		
43	昭和6	云、西		
44	昭和6	云、西		
45	昭和6	云、西		
46	昭和6	云、西		
47	昭和6	云、西		
48	昭和6	云、西		
49	昭和6	云、西		
50	昭和6	云、西		
51	昭和6	云、西		
52	昭和6	云、西		
53	昭和6	云、西		
54	昭和6	云、西		
55	昭和6	云、西		
56	昭和6	云、西		
57	昭和6	云、西		
58	昭和6	云、西		
59	昭和6	云、西		
60	昭和6	云、西		
61	昭和6	云、西		
62	昭和6	云、西		
63	昭和6	云、西		
64	昭和6	云、西		
65	昭和6	云、西		
66	昭和6	云、西		
67	昭和6	云、西		
68	昭和6	云、西		
69	昭和6	云、西		
70	昭和6	云、西		
71	鞍馬圖記	山口八九子図	昭70	云、西
72	五竹庵其節筆	芭蕉翁句	昭71	云、西

73	心越禪師筆	觀世音菩薩5字一行一幅	西しみ有	五、000
74	三社神名号一幅	江戸初	三、000	
75	古筆湖月の歌	天鼓庵筆	一幅	
76	有恒作	富士画贊	一幅	
77	中国人筆	寿老人図	一幅	
78	魯松庵筆	布袋画并句贊	一幅	
79	挑溪女史筆	竹之図	一幅	
80	田蘇白筆	三条大橋らん干之図	めくり一紙	
81	本願寺僧興教上人筆見眞大師号謹号をかしこみて	太田喜一郎著(本願寺僧興教上人筆見眞大師号謹号をかしこみて)	歌一首	
82	和漢洋図書目録	富山市浅田図書館	汚	
83	早稻田大学図書館洋書目録	昭5	云、000	
84	市政関係図書目録	神戸市立図書館	昭6	云、000
85	図書分類目録	満鉄東京支社所蔵	昭14	云、000
86	京都府図書館洋書目録	昭15	云、000	
87	図書書籍標準目録	昭16	云、000	
88	教師論	文部省編	昭17	云、000
89	キリスト教の歴史	氣賀重躬	昭18	云、000
90	萬葉集全釋(萬葉集研究2)	信綱著(萬葉集研究2)	昭19	云、000
91	標本調査の設計	斎藤津井共著	昭20	云、000
92	社会思想史	シユタイン著	昭21	云、000
93	詩集	火の国	昭22	云、000
94	菫子の話第一巻	西村咬三著	昭23	云、000
95	催眠術自宅独習書	木村素衛著	昭24	云、000
96	形成的自覚	柳池校著	昭25	云、000
97	社会思想史	シユタイン著	昭26	云、000
98	萬葉集全釋(萬葉集研究2)	信綱著(萬葉集研究2)	昭27	云、000
99	標本調査の設計	斎藤津井共著	昭28	云、000
100	社会思想史	シユタイン著	昭29	云、000
101	萬葉集全釋(萬葉集研究2)	信綱著(萬葉集研究2)	昭30	云、000
102	標本調査の設計	斎藤津井共著	昭31	云、000
103	社会思想史	シユタイン著	昭32	云、000
104	萬葉集全釋(萬葉集研究2)	信綱著(萬葉集研究2)	昭33	云、000
105	標本調査の設計	斎藤津井共著	昭34	云、000
106	社会思想史	シユタイン著	昭35	云、000
107	萬葉集全釋(萬葉集研究2)	信綱著(萬葉集研究2)	昭36	云、000
108	標本調査の設計	斎藤津井共著	昭37	云、000
109	社会思想史	シユタイン著	昭38	云、000
110	萬葉集全釋(萬葉集研究2)	信綱著(萬葉集研究2)	昭39	云、000
111	標本調査の設計	斎藤津井共著	昭40	云、000
112	社会思想史	シユタイン著	昭41	云、000
113	萬葉集全釋(萬葉集研究2)	信綱著(萬葉集研究2)	昭42	云、000
114	標本調査の設計	斎藤津井共著	昭43	云、000
115	社会思想史	シユタイン著	昭44	云、000
116	萬葉集全釋(萬葉集研究2)	信綱著(萬葉集研究2)	昭45	云、000
117	標本調査の設計	斎藤津井共著	昭46	云、000
118	社会思想史	シユタイン著	昭47	云、000
119	萬葉集全釋(萬葉集研究2)	信綱著(萬葉集研究2)	昭48	云、000
120	標本調査の設計	斎藤津井共著	昭49	云、000
121	社会思想史	シユタイン著	昭50	云、000
122	萬葉集全釋(萬葉集研究2)	信綱著(萬葉集研究2)	昭51	云、000
123	標本調査の設計	斎藤津井共著	昭52	云、000
124	社会思想史	シユタイン著	昭53	云、000
125	萬葉集全釋(萬葉集研究2)	信綱著(萬葉集研究2)	昭54	云、000
126	標本調査の設計	斎藤津井共著	昭55	云、000
127	社会思想史	シユタイン著	昭56	云、000
128	萬葉集全釋(萬葉集研究2)	信綱著(萬葉集研究2)	昭57	云、000
129	標本調査の設計	斎藤津井共著	昭58	云、000
130	社会思想史	シユタイン著	昭59	云、000
131	萬葉集全釋(萬葉集研究2)	信綱著(萬葉集研究2)	昭60	云、000
132	標本調査の設計	斎藤津井共著	昭61	云、000
133	社会思想史	シユタイン著	昭62	云、000
134	萬葉集全釋(萬葉集研究2)	信綱著(萬葉集研究2)	昭63	云、000
135	標本調査の設計	斎藤津井共著	昭64	云、000
136	社会思想史	シユタイン著	昭65	云、000
137	萬葉集全釋(萬葉集研究2)	信綱著(萬葉集研究2)	昭66	云、000
138	標本調査の設計	斎藤津井共著	昭67	云、000
139	社会思想史	シユタイン著	昭68	云、000
140	萬葉集全釋(萬葉集研究2)	信綱著(萬葉集研究2)	昭69	云、000
141	標本調査の設計	斎藤津井共著	昭70	云、000
142	社会思想史	シユタイン著	昭71	云、000
143	萬葉集全釋(萬葉集研究2)	信綱著(萬葉集研究2)	昭72	云、000
144	標本調査の設計	斎藤津井共著	昭73	云、000
145	社会思想史	シユタイン著	昭74	云、000
146	萬葉集全釋(萬葉集研究2)	信綱著(萬葉集研究2)	昭75	云、000
147	標本調査の設計	斎藤津井共著	昭76	云、000
148	社会思想史	シユタイン著	昭77	云、000
149	萬葉集全釋(萬葉集研究2)	信綱著(萬葉集研究2)	昭78	云、000
150	標本調査の設計	斎藤津井共著	昭79	云、000
151	社会思想史	シユタイン著	昭80	云、000
152	萬葉集全釋(萬葉集研究2)	信綱著(萬葉集研究2)	昭81	云、000
153	標本調査の設計	斎藤津井共著	昭82	云、000
154	社会思想史	シユタイン著	昭83	云、000
155	萬葉集全釋(萬葉集研究2)	信綱著(萬葉集研究2)	昭84	云、000
156	標本調査の設計	斎藤津井共著	昭85	云、000
157	社会思想史	シユタイン著	昭86	云、000
158	萬葉集全釋(萬葉集研究2)	信綱著(萬葉集研究2)	昭87	云、000
159	標本調査の設計	斎藤津井共著	昭88	云、000
160	社会思想史	シユタイン著	昭89	云、000
161	萬葉集全釋(萬葉集研究2)	信綱著(萬葉集研究2)	昭90	云、000
162	標本調査の設計	斎藤津井共著	昭91	云、000
163	社会思想史	シユタイン著	昭92	云、000
164	萬葉集全釋(萬葉集研究2)	信綱著(萬葉集研究2)	昭93	云、000
165	標本調査の設計	斎藤津井共著	昭94	云、000
166	社会思想史	シユタイン著	昭95	云、000
167	萬葉集全釋(萬葉集研究2)	信綱著(萬葉集研究2)	昭96	云、000
168	標本調査の設計	斎藤津井共著	昭97	云、000
169	社会思想史	シユタイン著	昭98	云、000
170	萬葉集全釋(萬葉集研究2)	信綱著(萬葉集研究2)	昭99	云、000
171	標本調査の設計	斎藤津井共著	昭100	云、000
172	社会思想史	シユタイン著	昭101	云、000
173	萬葉集全釋(萬葉集研究2)	信綱著(萬葉集研究2)	昭102	云、000
174	標本調査の設計	斎藤津井共著	昭103	云、000
175	社会思想史	シユタイン著	昭104	云、000
176	萬葉集全釋(萬葉集研究2)	信綱著(萬葉集研究2)	昭105	云、000
177	標本調査の設計	斎藤津井共著	昭106	云、000
178	社会思想史	シユタイン著	昭107	云、000
179	萬葉集全釋(萬葉集研究2)	信綱著(萬葉集研究2)	昭108	云、000
180	標本調査の設計	斎藤津井共著	昭109	云、000
181	社会思想史	シユタイン著	昭110	云、000
182	萬葉集全釋(萬葉集研究2)	信綱著(萬葉集研究2)	昭111	云、000
183	標本調査の設計	斎藤津井共著	昭112	云、000
184	社会思想史	シユタイン著	昭113	云、000
185	萬葉集全釋(萬葉集研究2)	信綱著(萬葉集研究2)	昭114	云、000
186	標本調査の設計	斎藤津井共著	昭115	云、000
187	社会思想史	シユタイン著	昭116	云、000
188	萬葉集全釋(萬葉集研究2)	信綱著(萬葉集研究2)	昭117	云、000
189	標本調査の設計	斎藤津井共著	昭118	云、000
190	社会思想史	シユタイン著	昭119	云、000
191	萬葉集全釋(萬葉集研究2)	信綱著(萬葉集研究2)	昭120	云、000
192	標本調査の設計	斎藤津井共著	昭121	云、000
193	社会思想史	シユタイン著	昭122	云、000
194	萬葉集全釋(萬葉集研究2)	信綱著(萬葉集研究2)	昭123	云、000
195	標本調査の設計	斎藤津井共著	昭124	云、000
196	社会思想史	シユタイン著	昭125	云、000
197	萬葉集全釋(萬葉集研究2)	信綱著(萬葉集研究2)	昭126	云、000
198	標本調査の設計	斎藤津井共著	昭127	云、000
199	社会思想史	シユタイン著	昭128	云、000
200	萬葉集全釋(萬葉集研究2)	信綱著(萬葉集研究2)	昭129	云、000
201	標本調査の設計	斎藤津井共著	昭130	云、000
202	社会思想史	シユタイン著	昭131	云、000
203	萬葉集全釋(萬葉集研究2)	信綱著(萬葉集研究2)	昭132	云、000
204	標本調査の設計	斎藤津井共著	昭133	云、000
205	社会思想史	シユタイン著	昭134	云、000
206	萬葉集全釋(萬葉集研究2)	信綱著(萬葉集研究2)	昭135	云、000
207	標本調査の設計	斎藤津井共著	昭136	云、000
208	社会思想史	シユタイン著	昭137	云、000
209	萬葉集全釋(萬葉集研究2)	信綱著(萬葉集研究2)	昭138	云、000
210	標本調査の設計	斎藤津井共著	昭139	云、000
211	社会思想史	シユタイン著	昭140	云、000
212	萬葉集全釋(萬葉集研究2)	信綱著(萬葉集研究2)	昭141	云、000
213	標本調査の設計	斎藤津井共著	昭142	云、000
214	社会思想史	シユタイン著	昭143	云、000
215	萬葉集全釋(萬葉集研究2)	信綱著(萬葉集研究2)	昭144	云、000
216	標本調査の設計	斎藤津井共著	昭145	云、000
217	社会思想史	シユタイン著	昭146	云、000
218	萬葉集全釋(萬葉集研究2)	信綱著(萬葉集研究2)	昭147	云、000
219	標本調査の設計	斎藤津井共著	昭148	云、000
220	社会思想史	シユタイン著	昭149	云、000
221	萬葉集全釋(萬葉集研究2)	信綱著(萬葉集研究2)	昭150	云、000
222	標本調査の設計	斎藤津井共著	昭151	云、000
223	社会思想史	シユタイン著	昭152	云、000
224	萬葉集全釋(萬葉集研究2)	信綱著(萬葉集研究2)	昭153	云、000
225	標本調査の設計	斎藤津井共著	昭154	云、000
226	社会思想史	シユタイン著	昭155	云、000
227	萬葉集全釋(萬葉集研究2)	信綱著(萬葉集研究2)	昭156	云、000
228	標本調査の設計	斎藤津井共著	昭157	云、000
229	社会思想史	シユタイン著	昭158	云、000
230	萬葉集全釋(萬葉集研究2)	信綱著(萬葉集研究2)	昭159	云、000
231	標本調査の設計	斎藤津井共著	昭160	云、000
232	社会思想史	シユタイン著	昭161	云、000
233	萬葉集全釋(萬葉集研究2)	信綱著(萬葉集研究2)	昭162	云、000
234	標本調査の設計	斎藤津井共著	昭163	云、000
235	社会思想史	シユタイン著	昭164	云、000
236	萬葉集全釋(萬葉集研究2)	信綱著(萬葉集研究2)	昭165	云、000
237	標本調査の設計	斎藤津井共著	昭166	云、000
238	社会思想史	シユタイン著	昭167	云、000
2				

〒 606 京都市左京区北白川久保田町64の5

社会科学系
学術書専門

外

山

書

店

1	日本社会主義文献解説	塩田庄一編	昭33二八、〇〇〇	木地師支配制度の研究	杉本寿	昭47二、〇〇〇			
2	日本社会運動人名辞典	塩田庄一、兵衛他編	昭54二、〇〇〇	ソヴェト農業経営	相川哲夫	昭47二、〇〇〇			
3	永田広志研究資料集 第一卷	永田文庫	昭54一、四〇〇	大戦後における独逸経済事情	林田敏義	昭38三、〇〇〇			
4	民族解放運動の歴史 上下	岡倉・大丸編	昭42三、〇〇〇	現代ソ連の経済と産業	西村・吉田編	昭51三、〇〇〇			
5	ソ連邦共産党第22回大会の文献	日共	昭37三、〇〇〇	金融講座	有斐閣	昭35四、〇〇〇			
6	宇都市報徳会十五年誌	同会	昭10四、〇〇〇	中央銀行制度の諸問題	日銀調査局	昭35三、〇〇〇			
7	ソ連工業の労働生産性 上下	平館相雄	昭24二、〇〇〇	金の問題—その研究序説	梶山武雄	昭36二、〇〇〇			
8	政治ライブリー 政治小説	政治教育協会	昭2一、〇〇〇	支那の外債	田中・山岡訳	昭19二、〇〇〇			
9	A・歐米政界の新潮流	水野鍊太郎	昭2二、〇〇〇	近代統計概論	山田勇	昭24一、〇〇〇			
10	B・世界經濟思想史	堀江帰一	昭2二、〇〇〇	近代理論統計学	高木秀玄	昭24一、〇〇〇			
11	C・最近政治思想史	高橋清吾	昭2二、〇〇〇	日本農業史	宮本又次	昭10四、〇〇〇			
12	D・國際聯盟政策論	神川彦松	昭2二、〇〇〇	東京株式取引所の概要	日銀調査局	昭18二、〇〇〇			
13	E・社会思想文典	永井亨	昭2二、〇〇〇	クライン・外国為替入門	梶山武雄	昭15三、〇〇〇			
14	F・婦人參政権論	森口繁治	昭2二、〇〇〇	明治工業史特輯	土屋六郎訳	昭24三、〇〇〇			
15	G・英國政治制度	占部百太郎	昭2二、〇〇〇	経営経済史	池内信行	昭24三、〇〇〇			
16	開国始末—井伊直弼伝	古島一雄回顧録	昭2二、〇〇〇	日本の中企業	藤田・金持	昭24三、〇〇〇			
17	神ながらの道	克彦進講	昭2二、〇〇〇	ソヴェトの科学と技術	大澤峯雄訳	昭25四、〇〇〇			
18	政界五十年	木村篤太郎監	昭2二、〇〇〇	ホヌボーム市民革命と産業革命	安川・水田訳	昭46三、〇〇〇			
19	日本憂國三代史	田中・戴夫	昭2二、〇〇〇	明治工業史	昭6八、〇〇〇	大戦後における独逸経済事情	三三菱銀行調査課	昭35三、〇〇〇	
20	米国の台灣政策	京都府警察	昭43三、〇〇〇	クライン沖縄の宗教と社會構造	崎原貞一訳	昭39二、〇〇〇			
21	京都府警察 全二冊	同編纂会	昭50三、〇〇〇	善惡の彼岸(ニイエ)	永瀬平一訳	昭49三、〇〇〇			
22	後藤新平 全四冊	同編纂会	昭55三、〇〇〇	現代文化序説(オルテガ)	池島重信訳	昭14一、〇〇〇			
23	民法論文集 正統	同編纂会	昭58三、〇〇〇	カントと形而上学(ハイデッカー)	佐藤慶二訳	昭13三、〇〇〇			
24	物權法(民法講義II)	我妻栄	昭59三、〇〇〇	リープ冲縄の宗教と社會構造	甘粕石介訳	昭13三、〇〇〇			
25	判例を中心とした債權法論	同編纂会	昭61三、〇〇〇	青年時代のヘーゲル(ディルタイ)	永瀬平一訳	昭14一、〇〇〇			
26	代理の研究	同編纂会	昭62三、〇〇〇	文化の危機(ジンメル)・人間と技術	(シュベンクグラー)	昭13三、〇〇〇			
27	明治憲政経済史論	中島玉吉	昭63三、〇〇〇	凌霜外史(神戸高商)	阿閉・加茂訳	昭13三、〇〇〇			
28	シユムベーラー貨幣分配の理論	大西耕三	昭64三、〇〇〇	カントと形而上学(ハイデッカー)	本郷貞一訳	昭13三、〇〇〇			
29	シユティリッピ・新貨幣學入門	高後虎雄訳	昭65三、〇〇〇	青年時代のヘーゲル(ディルタイ)	崎原貞一訳	昭13三、〇〇〇			
30	インフレーションと通貨改革	安原・浅田	昭66三、〇〇〇	文化の危機(ジンメル)・人間と技術	永瀬平一訳	昭14一、〇〇〇			
31	日本の通貨と物価	鈴木淑夫	昭67三、〇〇〇	(シュベンクグラー)	池島重信訳	昭13三、〇〇〇			
32	クラーク他・景氣と需要の予測	同社	昭68三、〇〇〇	立命大商工経営研究会	同大学	昭18二、〇〇〇			
33	海外経済事情	同社	昭69三、〇〇〇	近畿通商産業の回顧と展望	大阪通産局	昭32三、〇〇〇			
34	日本郵便通送KK	同社	昭70三、〇〇〇	第三阪神国道工事誌	建設省	昭50三、〇〇〇			
35	櫻谷包装産業KK六十五年史	同社	昭71三、〇〇〇	近畿通商産業の回顧と展望	大阪通産局	昭32三、〇〇〇			
36	シユティリッピ・新貨幣學入門	近藤康男編	昭72三、〇〇〇	京都府の縫製品工業	全京都組紐連合会	昭53三、〇〇〇			
37	判例を中心とした債權法論	小野武夫	昭73三、〇〇〇	第二阪神国道工事誌	立命大商工経営研究会	昭34一、〇〇〇			
38	代理の研究	同社	昭74三、〇〇〇	三井銀行一〇〇年のあゆみ	昭18二、〇〇〇	大戦後における独逸経済事情	三三菱銀行調査課	昭35三、〇〇〇	
39	明治憲政経済史論	同社	昭75三、〇〇〇	三井物産小史	同志社百年史	全千冊	大戦後における独逸経済事情	三三菱銀行調査課	昭35三、〇〇〇
40	シユムベーラー貨幣分配の理論	同社	昭76三、〇〇〇	東棉四十年史	岡村秀太郎	大5三、〇〇〇	大戦後における独逸経済事情	三三菱銀行調査課	昭35三、〇〇〇
41	高後虎雄訳	同社	昭77三、〇〇〇	大和ハウス工業二十年史	大5三、〇〇〇	大戦後における独逸経済事情	三三菱銀行調査課	昭35三、〇〇〇	
42	安原・浅田	同社	昭78三、〇〇〇	日通十五三十年史	日本郵便通送KK	昭51三、〇〇〇	大戦後における独逸経済事情	三三菱銀行調査課	昭35三、〇〇〇
43	鈴木淑夫	同社	昭79三、〇〇〇	櫻谷包装産業KK六十五年史	同社	昭52三、〇〇〇	大戦後における独逸経済事情	三三菱銀行調査課	昭35三、〇〇〇
44	同社	同社	昭80三、〇〇〇	日通十五三十年史	同社	昭53三、〇〇〇	大戦後における独逸経済事情	三三菱銀行調査課	昭35三、〇〇〇
45	同社	同社	昭81三、〇〇〇	櫻谷包装産業KK六十五年史	同社	昭54三、〇〇〇	大戦後における独逸経済事情	三三菱銀行調査課	昭35三、〇〇〇
46	同社	同社	昭82三、〇〇〇	日通十五三十年史	同社	昭55三、〇〇〇	大戦後における独逸経済事情	三三菱銀行調査課	昭35三、〇〇〇
47	同社	同社	昭83三、〇〇〇	櫻谷包装産業KK六十五年史	同社	昭56三、〇〇〇	大戦後における独逸経済事情	三三菱銀行調査課	昭35三、〇〇〇
48	同社	同社	昭84三、〇〇〇	日通十五三十年史	同社	昭57三、〇〇〇	大戦後における独逸経済事情	三三菱銀行調査課	昭35三、〇〇〇
49	同社	同社	昭85三、〇〇〇	櫻谷包装産業KK六十五年史	同社	昭58三、〇〇〇	大戦後における独逸経済事情	三三菱銀行調査課	昭35三、〇〇〇
50	同社	同社	昭86三、〇〇〇	日通十五三十年史	同社	昭59三、〇〇〇	大戦後における独逸経済事情	三三菱銀行調査課	昭35三、〇〇〇
51	同社	同社	昭87三、〇〇〇	櫻谷包装産業KK六十五年史	同社	昭60三、〇〇〇	大戦後における独逸経済事情	三三菱銀行調査課	昭35三、〇〇〇
52	同社	同社	昭88三、〇〇〇	日通十五三十年史	同社	昭61三、〇〇〇	大戦後における独逸経済事情	三三菱銀行調査課	昭35三、〇〇〇
53	同社	同社	昭89三、〇〇〇	櫻谷包装産業KK六十五年史	同社	昭62三、〇〇〇	大戦後における独逸経済事情	三三菱銀行調査課	昭35三、〇〇〇
54	同社	同社	昭90三、〇〇〇	日通十五三十年史	同社	昭63三、〇〇〇	大戦後における独逸経済事情	三三菱銀行調査課	昭35三、〇〇〇
55	同社	同社	昭91三、〇〇〇	櫻谷包装産業KK六十五年史	同社	昭64三、〇〇〇	大戦後における独逸経済事情	三三菱銀行調査課	昭35三、〇〇〇
56	同社	同社	昭92三、〇〇〇	日通十五三十年史	同社	昭65三、〇〇〇	大戦後における独逸経済事情	三三菱銀行調査課	昭35三、〇〇〇
57	同社	同社	昭93三、〇〇〇	櫻谷包装産業KK六十五年史	同社	昭66三、〇〇〇	大戦後における独逸経済事情	三三菱銀行調査課	昭35三、〇〇〇
58	同社	同社	昭94三、〇〇〇	日通十五三十年史	同社	昭67三、〇〇〇	大戦後における独逸経済事情	三三菱銀行調査課	昭35三、〇〇〇
59	同社	同社	昭95三、〇〇〇	櫻谷包装産業KK六十五年史	同社	昭68三、〇〇〇	大戦後における独逸経済事情	三三菱銀行調査課	昭35三、〇〇〇
60	同社	同社	昭96三、〇〇〇	日通十五三十年史	同社	昭69三、〇〇〇	大戦後における独逸経済事情	三三菱銀行調査課	昭35三、〇〇〇
61	同社	同社	昭97三、〇〇〇	櫻谷包装産業KK六十五年史	同社	昭70三、〇〇〇	大戦後における独逸経済事情	三三菱銀行調査課	昭35三、〇〇〇
62	同社	同社	昭98三、〇〇〇	日通十五三十年史	同社	昭71三、〇〇〇	大戦後における独逸経済事情	三三菱銀行調査課	昭35三、〇〇〇
63	同社	同社	昭99三、〇〇〇	櫻谷包装産業KK六十五年史	同社	昭72三、〇〇〇	大戦後における独逸経済事情	三三菱銀行調査課	昭35三、〇〇〇
64	同社	同社	昭99三、〇〇〇	日通十五三十年史	同社	昭73三、〇〇〇	大戦後における独逸経済事情	三三菱銀行調査課	昭35三、〇〇〇
65	同社	同社	昭99三、〇〇〇	櫻谷包装産業KK六十五年史	同社	昭74三、〇〇〇	大戦後における独逸経済事情	三三菱銀行調査課	昭35三、〇〇〇
66	同社	同社	昭99三、〇〇〇	日通十五三十年史	同社	昭75三、〇〇〇	大戦後における独逸経済事情	三三菱銀行調査課	昭35三、〇〇〇
67	同社	同社	昭99三、〇〇〇	櫻谷包装産業KK六十五年史	同社	昭76三、〇〇〇	大戦後における独逸経済事情	三三菱銀行調査課	昭35三、〇〇〇
68	同社	同社	昭99三、〇〇〇	日通十五三十年史	同社	昭77三、〇〇〇	大戦後における独逸経済事情	三三菱銀行調査課	昭35三、〇〇〇
69	同社	同社	昭99三、〇〇〇	櫻谷包装産業KK六十五年史	同社	昭78三、〇〇〇	大戦後における独逸経済事情	三三菱銀行調査課	昭35三、〇〇〇
70	同社	同社	昭99三、〇〇〇	日通十五三十年史	同社	昭79三、〇〇〇	大戦後における独逸経済事情	三三菱銀行調査課	昭35三、〇〇〇
71	同社	同社	昭99三、〇〇〇	櫻谷包装産業KK六十五年史	同社	昭80三、〇〇〇	大戦後における独逸経済事情	三三菱銀行調査課	昭35三、〇〇〇
72	同社	同社	昭99三、〇〇〇	日通十五三十年史	同社	昭81三、〇〇〇	大戦後における独逸経済事情	三三菱銀行調査課	昭35三、〇〇〇
73	同社	同社	昭99三、〇〇〇	櫻谷包装産業KK六十五年史	同社	昭82三、〇〇〇	大戦後における独逸経済事情	三三菱銀行調査課	昭35三、〇〇〇
74	同社	同社	昭99三、〇〇〇	日通十五三十年史	同社	昭83三、〇〇〇	大戦後における独逸経済事情	三三菱銀行調査課	昭35三、〇〇〇
75	同社	同社	昭99三、〇〇〇	櫻谷包装産業KK六十五年史	同社	昭84三、〇〇〇	大戦後における独逸経済事情	三三菱銀行調査課	昭35三、〇〇〇
76	同社	同社	昭99三、〇〇〇	日通十五三十年史	同社	昭85三、〇〇〇	大戦後における独逸経済事情	三三菱銀行調査課	昭35三、〇〇〇
77	同社	同社	昭99三、〇〇〇	櫻谷包装産業KK六十五年史	同社	昭86三、〇〇〇	大戦後における独逸経済事情	三三菱銀行調査課	昭35三、〇〇〇
78	同社	同社	昭99三、〇〇〇	日通十五三十年史	同社	昭87三、〇〇〇	大戦後における独逸経済事情	三三菱銀行調査課	昭35三、〇〇〇
79	同社	同社	昭99三、〇〇〇	櫻谷包装産業KK六十五年史	同社	昭88三、〇〇〇	大戦後における独逸経済事情	三三菱銀行調査課	昭35三、〇〇〇
80	同社	同社	昭99三、〇〇〇	日通十五三十年史	同社	昭89三、〇〇〇	大戦後における独逸経済事情	三三菱銀行調査課	昭35三、〇〇〇
81	同社	同社	昭99三、〇〇〇	櫻谷包装産業KK六十五年史	同社	昭90三、〇〇〇	大戦後における独逸経済事情	三三菱銀行調査課	昭35三、〇〇〇
82	同社	同社	昭99三、〇〇〇	日通十五三十年史	同社	昭91三、〇〇〇	大戦後における独逸経済事情	三三菱銀行調査課	昭35三、〇〇〇
83	同社	同社	昭99三、〇〇〇	櫻谷包装産業KK六十五年史	同社	昭92三、〇〇〇	大戦後における独逸経済事情	三三菱銀行調査課	昭35三、〇〇〇
84	同社	同社	昭99三、〇〇〇	日通十五三十年史	同社	昭93三、〇〇〇	大戦後における独逸経済事情	三三菱銀行調査課	昭35三、〇〇〇
85	同社	同社	昭99三、〇〇〇	櫻谷包装産業KK六十五年史	同社	昭94三、〇〇〇	大戦後における独逸経済事情	三三菱銀行調査課	昭35三、〇〇〇
86	同社	同社	昭99三、〇〇〇	日通十五三十年史	同社	昭95三、〇〇〇	大戦後における独逸経済事情	三三菱銀行調査課	昭35三、〇〇〇
87	同社	同社	昭99三、〇〇〇	櫻谷包装産業KK六十五年史	同社	昭96三、〇〇〇	大戦後における独逸経済事情	三三菱銀行調査課	昭35三、〇〇〇
88	同社	同社	昭99三、〇〇〇	日通十五三十年史	同社	昭97三、〇〇〇	大戦後における独逸経済事情	三三菱銀行調査課	昭35三、〇〇〇
89	同社	同社	昭99三、〇〇〇	櫻谷包装産業KK六十五年史	同社	昭98三、〇〇〇	大戦後における独逸経済事情	三三菱銀行調査課	昭35三、〇〇〇
90	同社	同社	昭99三、〇〇〇	日通十五三十年史	同社	昭99三、〇〇〇	大戦後における独逸経済事情	三三菱銀行調査課	昭35三、〇〇〇
91	同社	同社	昭99三、〇〇〇	櫻谷包装産業KK六十五年史	同社	昭100三、〇〇〇	大戦後における独逸経済事情	三三菱銀行調査課	昭35三、〇〇〇
92	同社	同社	昭99三、〇〇〇	日通十五三十年史	同社	昭101三、〇〇〇	大戦後における独逸経済事情	三三菱銀行調査課	昭35三、〇〇〇
93	同社	同社	昭99三、〇〇〇	櫻谷包装産業KK六十五年史	同社	昭102三、〇〇〇	大戦後における独逸経済事情	三三菱銀行調査課	昭35三、〇〇〇
94	同社	同社	昭99三、〇〇〇	日通十五三十年史	同社	昭103三、〇〇〇	大戦後における独逸経済事情	三三菱銀行調査課	昭35三、〇〇〇
95	同社	同社	昭99三、〇〇〇	櫻谷包装産業KK六十五年史	同社	昭104三、〇〇〇	大戦後における独逸経済事情	三三菱銀行調査課	昭35三、〇〇〇
96	同社	同社	昭99三、〇〇〇	日通十五三十年史	同社	昭105三、〇〇〇	大戦後における独逸経済事情	三三菱銀行調査課	昭35三、〇〇〇
97	同社	同社	昭99三、〇〇〇	櫻谷包装産業KK六十五年史	同社	昭106三、〇〇〇	大戦後における独逸経済事情	三三菱銀行調査課	昭35三、〇〇〇
98	同社	同社	昭99三、〇〇〇	日通十五三十年史	同社	昭107三、〇〇〇	大戦後における独逸経済事情	三三菱銀行調査課	昭35三、〇〇〇
99	同社	同社	昭99三、〇〇〇	櫻谷包装産業KK六十五年史	同社	昭108三、〇〇〇	大戦後における独逸経済事情	三三菱銀行調査課	昭35三、〇〇〇
100	同社	同社	昭99三、〇〇〇	日通十五三十年史	同社	昭109三、〇〇〇	大戦後における独逸経済事情	三三菱銀行調査課	昭35三、〇〇〇
101	同社	同社	昭99三、〇〇〇	櫻谷包装産業KK六十五年史	同社	昭110三、〇〇〇	大戦後における独逸経済事情	三三菱銀行調査課	昭35三、〇〇〇
102	同社	同社	昭99三、〇〇〇	日通十五三十年史	同社	昭111三、〇〇〇	大戦後における独逸経済事情	三三菱銀行調査課	昭35三、〇〇〇
103	同社	同社	昭99三、〇〇〇	櫻谷包装産業KK六十五年史	同社	昭112三、〇〇〇	大戦後における独逸経済事情	三三菱銀行調査課	昭35三、〇〇〇
104	同社	同社	昭99三、〇〇〇	日通十五三十年史	同社	昭113三、〇〇〇	大戦後における独逸経済事情	三三菱銀行調査課	昭35三、〇〇〇
105	同社	同社	昭99三、〇〇〇	櫻谷包装産業KK六十五年史	同社	昭114三、〇〇〇	大戦後における独逸経済事情	三三菱銀行調査課	昭35三、〇〇〇
106	同社	同社	昭99三、〇〇〇	日通十五三十年史	同社	昭115三、〇〇〇	大戦後における独逸経済事情	三三菱銀行調査課	昭35三、〇〇〇

古書籍
東方書店

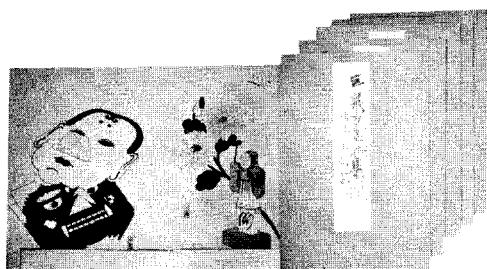
電話(〇七五)四九一—三〇七一

今回のは史籍集覽本一〇一点を掲載分売することにいたしました。これは明治十年代に近藤瓶城編集に關わるもので、全冊和装小型本です。その内数冊は表紙小虫付きですが、大体において保存は良好です。なお全点すべて完本であります。

28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	1
渡辺幸庵対話	会津陣物語	利家夜話	加沢平次左衛門	新田老談記	岡津家譜	毛利元就記	備前文明乱記他	備中兵乱記他	岡州三家物語	松隣夜話	琉客談記他	寿斎記	西行一生涯草紙	諸寺塔供養記	松陰私語他	神皇正統錄	長慶草紙	足利季世記	利長見集	春日山日記	大和軍記	名古屋合戦記他	興福寺英俊法印日記	六史要覽	細々要記	飛州軍覽記
全二冊	全三冊	上中下	全二冊	全二冊	全二冊	全二冊	全二冊	全二冊	全二冊	全二冊	全二冊	全二冊	全二冊	全二冊	全二冊	全二冊	全二冊	全二冊	全二冊	九冊	五冊	全一冊	全一冊	全一冊	二冊	
全二冊	全一冊	全一冊	全一冊	全一冊	全一冊	全一冊	全一冊	全一冊	全一冊	全一冊	全一冊	全一冊	全一冊	全一冊	全一冊	全一冊	全一冊	全一冊	表紙小虫	全	全	全	全	全	一冊	

備前老人物語	上
太閤素生記他	下
介寿筆叢	上
老翁物語	下
北条五代記	上
安西軍策	下
落穂集追加	上
扶桑叢書	下
山門三井確執記他	上
雲州軍話	下
細川忠興軍功記	上
北条九代記	下
里見九代記	上
川島五度合戦次第他	下
十三代要畧	上
賤岳合戰記	下
姓序考	全一冊
者伯得聞	全二冊
太閤記	上中下
櫻雪記	上
一柳家記	下
渡辺勘兵記	全一冊
兼山記他	全二冊
今物語他	全二冊
朝鮮陣古文他	全二冊
明良帶錄	全三冊
戻山大師伝他	全二冊
空海大師傳記	全二冊
肥陽軍記	全二冊
武辺双書	全二冊
上杉略譜	全三冊
鎌倉領主	全二冊
統世継	全二冊
田楽法師由來之事	全十一冊
總見記	全十冊
五冊	全十六冊

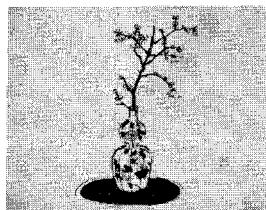
104	不折画集	第一二集	二冊 橫綴本	初版	歴代鎮西要略 関八州古戦錄	全九冊
103	東京四大通	東京通人	小杉未醒	初版	脇坂家伝記・中村一氏記	全一冊
102	原城紀事	重編応仁記	全九冊	玉音抄耳真抄	天明江戸飢饉	全一冊
101	史鑑	初・中・後編	全十一冊	惟任退治記・紀州御發行記、 四国及北国御動座記他	島津家本東鑑	全一冊
100	スケッチ画集	第三輯	全八冊	鎌倉九代後記	福島太夫殿御事	全一冊
99	南巒寺興廢記	古今著聞集	上・中・下	九州紹運記	後見草上・中・下	全一冊
98	藤堂栄衰記	古事談	上・中・下	豊薩軍記	塵塚物語	全一冊
97	神明記	中外經緯伝	上・中・下	南方記伝	武芸小伝	全一冊
96	95	94	93	92	91	90
95	94	93	92	91	90	89
94	93	92	91	90	89	88
93	92	91	90	89	88	87
92	91	90	89	88	87	86
91	90	89	88	87	86	85
90	89	88	87	86	85	84
89	88	87	86	85	84	83
88	87	86	85	84	83	82
87	86	85	84	83	82	81
86	85	84	83	82	81	80
85	84	83	82	81	79	78
84	83	82	81	80	77	76
83	82	81	80	79	76	75
82	81	80	79	78	77	73
81	80	79	78	77	76	73
80	79	78	77	76	75	73
79	78	77	76	75	74	73
78	77	76	75	74	73	72
77	76	75	74	73	71	70
76	75	74	73	72	69	68



(A)



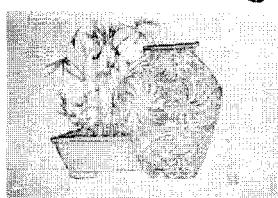
(E)



(F)



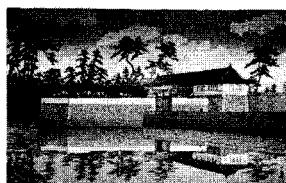
(G)



(c)



(H)



(D)

昭 昭 昭 昭 昭 明 昭 昭 昭 昭 昭 昭 昭 大 昭 昭 昭 大 昭 明 大 昭 大 昭

〒604 京都市中京区寺町錦小路

大書

堂

平 606
京都市左京区浄土寺西田町八十二ノ四
法律・経済・思想
一般書

1	原始時代の生活	文化上の人類と 自然史学会編	昭25 元、000
2	ギリシア文化	(百花文庫)	昭22 一、五〇〇
3	ジャワの旋風	—戦後の文化の探訪—	昭18 元、000
4	旅順戰記読本	旅順戦史研究会編	昭17 元、000
5	滿洲帝国概観	滿洲事情案内所刊	康徳9 三、五〇〇
6	南方亞細亞の文化	新亞細亞叢書 満鉄東亜經濟調査局	昭17 三、000
7	ショーランク 現代の文化問題	村井・長井 昭34 六、000	
8	アルフレード・チャーチ 文化社会学	山本・信太・草薙 昭33 二、000	
9	ヨーロッパ論編 社会学の癡宴	福浦 直 昭27 三、000	
10	エミール・デュルケム 社会学的方法の規準	田辺寿利 昭27 四、000	
11	ラザル・シモン・ブルナフ リリナ 芸術社会学の諸問題	昭7 五、000	
12	マンハイム・シラフ・オガラーン 知識社会学 権俊訳編	昭33 三、000	
13	ウイリアム・オーゲル ダーレル・ベリガード やくざの世界 —日本社会の内幕—	昭23 三、000	
14	マッキアーピー 政略に立つアメリカ	菊池綾子・村川隆 昭28 三、000	
15	アーカイバ 社会学の展開	中村正文 昭31 二、000	
16	ダニエル・技術と文化	三枝博音・鳥島博郎 昭31 八、000	
17	マンフォード・技術と文明	昭28 五、000	
18	技術史(現代日本文明史)	三枝博音 昭15 二、000	
19	マスクミュー二ケーションの諸問題	井上吉次郎 昭32 一、五〇〇	
20	緒方洪庵 全47巻	緒方富雄 昭42 五、五〇〇	
21	レーニン全集	大月書店 昭27 一、000	
22	フルゴーラト・トリアソティの対話(全一冊)	昭36 四、五〇〇	
23	サル・バトル・ムー 実存主義は足が非か	伊藤武彦・今井仙 昭25 一、000	
24	アボニア・科学 世界哲学史(一九九册)	昭33 三、000	
25	経済学大辞典 全三冊	東洋経済新報社 昭八 八、000	
26	分類山村語彙	柳田国男・倉田一郎 昭16 六、000	
27	亮春ノ書毒及其予防(近世医学叢書)	栗本庸勝 昭44 五、000	
28	歐米各都市に於ける花柳病予防の状況に就て 嫦妓病院治療統計の価値に就て 妃笑婦の生活程度に就て 檢徵法に就て 売淫は果して社会生存の一条件なるや否や。	昭44 五、000	

法律学大系	法学理論編	分売 No.	33	~No. 100
日本憲法史	鈴木正藏	昭	一、	0000
法廷技術	戒能通孝	昭	一、	0000
国際組織の発展	猪木正道解説	昭	37	三、0000
英米警察制度	国家論(原典翻刻叢書)	全五冊	〔出中林太郎著〕(分巻)	昭30 八、0000
過失責任と無過失責任	横田三郎	昭	45	六、0000
労働委員会・労働裁判所	川田寿	昭	25	25 一、0000
過失の実証的研究	昭	25	25 一、0000	昭
未開社会における法	井上正治	昭	25	25 一、0000
著作権	杉浦健一	昭	25	25 一、0000
英米法における「法の支配」	伊藤正己	昭	25	25 一、0000
公務員の労働法上の地位	鶴銅信成	昭	25	25 一、0000
行政機構における委員会制	小町谷操三	昭	25	25 一、0000
雇傭	石井良助	昭	25	25 一、0000
海上売買法の発展	戒能通孝	昭	25	25 一、0000
長子相続制	松岡三郎	昭	25	25 一、0000
商人	浅井清信	昭	25	25 一、0000
経営協議会	三藤一正	昭	25	25 一、0000
軽犯罪	野村平爾	昭	25	25 一、0000
マルクシズム法学	熊倉武	昭	25	25 一、0000
親子	長谷川正安	昭	25	25 一、0000
婦人と犯罪	於保不二雄	昭	25	25 一、0000
国際人権と国際法	三田庸子	昭	25	25 一、0000
法と國家	田畠茂二郎	昭	25	25 一、0000
イギリス家族法の基本原理	山中庸雄	昭	25	25 一、0000
倉庫	内田力藏	昭	25	25 一、0000
明治家族法史	大任達雄	昭	25	25 一、0000
日本における漁業法の歴史とその性格	高柳真三	昭	26	26 一、0000
自白と裁判	潮見俊隆	昭	26	26 一、0000
行政組織	戒能通孝	昭	26	26 一、0000
日本農業立法史	佐藤功	昭	26	26 一、0000
矯正保護	杉田揚太郎	昭	26	26 一、0000
日本本運取扱業の法的考観	大津正雄	昭	26	26 一、0000
労働争議	小町谷操三	昭	26	26 一、0000
	中山康雄	昭	26	26 一、0000

死刑	中国的法思想史
占有の理論	証拠と弁論
主権	第二次大戦後の憲法
経済刑法	フランス憲法の発展と特質
主権	国際労働法史
主権	人権と国際法
主権	危険負担論
犯罪心理	名譽と法律
裁判所規則制定の歴史	レイバー・インジャンクション
就業規則	日本金融立法史 全2巻
就業規則	労働事件と仮処分
就業規則	養子
就業規則	保安処分
就業規則	司法権の優越
就業規則	自然法
就業規則	エールリッヒの社会学 全2巻
農地改革	陪審裁判の歴史的意義
農地改革	共同所有論
農地改革	フランス革命と憲法
農地改革	中央集権と地方分権
農地改革	市民法と社会法
農地改革	証拠法の基礎理論
法廷侮辱	豊田工機二十年史
法廷侮辱	トヨタ自動車二十年史
法廷侮辱	トヨタ自動車三十年史
法廷侮辱	市民法と社会法
法廷侮辱	証拠法の基礎理論
法廷侮辱	日本航空五十年史

下607

京都市山科区大宅五反畠町3

目録屋

山崎

書

店

1 文部省「民主主義」解説と批判	井上書房	A 5	B 6	昭24 二、〇〇〇
2 社会構成史体系	(城部・平野大塚)	日本評論社	A 5	昭24 一、〇〇〇
3 日本外交史	大畠篤四郎	東出版	A 5	昭53 一、〇〇〇
4 第二次世界大戦前史	芦田均	時事通信	A 5	昭35 一、〇〇〇
5 支那統治	芦田均	昭35 三、〇〇〇		
6 新中國史	毛沢東まで	吉田東祐 洋々社	B 6	昭29 一、〇〇〇
7 支那四千年史	後藤末雄	第二書房	B 6	昭16 二、〇〇〇
8 新支那論	池崎忠孝	明治書房	B 6	昭15 一、〇〇〇
9 異民族支那統治史	市村惣次郎	東亜研究所編	B 6	昭19 三、〇〇〇
10 満鉄を語る	(鶴義) 松岡洋石	第1出版社	B 6	昭12 一、〇〇〇
11 東洋史上の日本民族	鈴木俊	岩波文庫	B 6	昭19 一、〇〇〇
12 東洋の理想	岡倉天心	春秋社	B 6	昭17 一、〇〇〇
13 支那史研究	市村惣次郎	東亜研究所編	B 6	昭18 一、〇〇〇
14 日本風俗史講座	武蔵野美術など	辻他雄山閣	A 5	昭2 一、〇〇〇
15 日本中世史	原勝郎	創元社	B 6	昭16 一、〇〇〇
16 鎮国(日本の割制)	和辻哲郎	筑摩	B 6	昭28 一、〇〇〇
17 校刻日本外史(字典とも)	賴公	聚楽堂	B 6	昭39 一、〇〇〇
18 日本を決定した百年	吉田茂	日本経済新聞	B 6	昭18 一、〇〇〇
19 戦後日本の歴史	井上清	現代評論社	B 6	昭23 一、〇〇〇
20 明治大帝 附明治美談	講談社	昭24 一、〇〇〇		
21 華道と日本精神	Gヘルル	福村出版	B 6	昭24 一、〇〇〇
22 近世教育史	乙竹岩造	培風館	B 6	昭24 一、〇〇〇
23 二宮尊徳	寺田文夫	文理書院	B 6	昭24 一、〇〇〇
24 ヒューム教授法議義	吉田敏雄	山海堂書店	B 6	昭24 一、〇〇〇
25 教育の基礎たる社会学(印アリ)	市川一郎	大同館	B 6	昭24 一、〇〇〇
26 萬國説史系譜(印アリ)	村岡典嗣	富山房	A 5	昭24 一、〇〇〇
27 日本書法史	岩波	洋々社	A 5	昭24 一、〇〇〇
28 在日韓国人の歴史と現実	吉田敏雄	二月社	A 5	昭24 一、〇〇〇
29 思想と日本	吉田敏雄	日本評論社	A 5	昭24 一、〇〇〇
30 土地制度の研究	白日書房	昭24 一、〇〇〇		
31 農民解放の史的考察	吉田敏雄	昭24 一、〇〇〇		
32 日本書法史 上下	吉田敏雄	時潮社	A 5	昭24 一、〇〇〇
33 京都市山科区大宅五反畠町3	吉田敏雄	昭24 一、〇〇〇		
34 儒学概論	齊藤要	南光社	A 5	昭24 一、〇〇〇
35 社会学概論	高田保馬	岩波	A 5	昭24 一、〇〇〇
36 变態社会全般と武蔵直治	岩波	岩波	A 5	昭24 一、〇〇〇
37 日本政治理想史研究	丸山眞男	東大出版	A 5	昭24 一、〇〇〇
38 古典派資本蓄積論の研究	羽鳥卓也	未来社	A 5	昭24 一、〇〇〇
39 貨幣理論と貨幣制度	中西仁三	有斐閣	A 5	昭24 一、〇〇〇
40 ピュア・国民経済進化論(第2集)	佐野義太郎	雄渾社	A 5	昭24 一、〇〇〇
41 スミスリスト(新訳)	大河内平蔵	日本評論社	A 5	昭24 一、〇〇〇
42 経済政策原理(著入れあり)	熊谷尚夫	岩波	A 5	昭24 一、〇〇〇
43 法律における階級闘争	新日本出版	岩波	A 5	昭24 一、〇〇〇
44 法律と陪審制度	平野義太郎	研進社	A 5	昭24 一、〇〇〇
45 ブルマニン思想	有斐閣	昭24 一、〇〇〇		
46 グルマン思想	平野義太郎	有斐閣	A 5	昭24 一、〇〇〇
47 イギリス社会主義の発足	大内兵衛	第一出版	A 5	昭24 一、〇〇〇
48 イギリス社会主義の発足	大内兵衛	第一出版	A 5	昭24 一、〇〇〇
49 物権法(民法講義II)	我妻栄	岩波	A 5	昭24 一、〇〇〇
50 イギリス法原理(新版)	岩波	岩波	A 5	昭24 一、〇〇〇
51 治罪法傍論、刑法譯解、附則譯解	和泉文英譯	岩波文庫	B 6	昭24 一、〇〇〇
52 憲法解義	伊藤博文	岩波文庫	B 6	昭24 一、〇〇〇
53 刑法譯義	馬場文英譯	岩波文庫	B 6	昭24 一、〇〇〇
54 律例翻訳	伊藤博文	岩波文庫	B 6	昭24 一、〇〇〇
55 物権法(民法講義I)	岩谷栄	岩波	A 5	昭24 一、〇〇〇
56 侵略と立體繪画史	シラクサ	岩波	A 5	昭24 一、〇〇〇
57 朝鮮の巨匠達 第一部	日本美術出版社	岩波	A 5	昭24 一、〇〇〇
58 朝鮮の巨匠達 第二部	日本美術出版社	岩波	A 5	昭24 一、〇〇〇
59 朝鮮の巨匠達 第三部	日本美術出版社	岩波	A 5	昭24 一、〇〇〇
60 朝鮮の巨匠達 第四部	日本美術出版社	岩波	A 5	昭24 一、〇〇〇
61 朝鮮の巨匠達 第五部	日本美術出版社	岩波	A 5	昭24 一、〇〇〇
62 朝鮮の巨匠達 第六部	日本美術出版社	岩波	A 5	昭24 一、〇〇〇
63 朝鮮の巨匠達 第七部	日本美術出版社	岩波	A 5	昭24 一、〇〇〇
64 朝鮮の巨匠達 第八部	日本美術出版社	岩波	A 5	昭24 一、〇〇〇
65 朝鮮の巨匠達 第九部	日本美術出版社	岩波	A 5	昭24 一、〇〇〇
66 朝鮮の巨匠達 第十部	日本美術出版社	岩波	A 5	昭24 一、〇〇〇
67 朝鮮の巨匠達 第十一部	日本美術出版社	岩波	A 5	昭24 一、〇〇〇
68 朝鮮の巨匠達 第十二部	日本美術出版社	岩波	A 5	昭24 一、〇〇〇
69 朝鮮の巨匠達 第十三部	日本美術出版社	岩波	A 5	昭24 一、〇〇〇
70 朝鮮の巨匠達 第十四部	日本美術出版社	岩波	A 5	昭24 一、〇〇〇
71 朝鮮の巨匠達 第十五部	日本美術出版社	岩波	A 5	昭24 一、〇〇〇
72 朝鮮の巨匠達 第十六部	日本美術出版社	岩波	A 5	昭24 一、〇〇〇
73 朝鮮の巨匠達 第十七部	日本美術出版社	岩波	A 5	昭24 一、〇〇〇
74 大英社会主義の発足	大内兵衛	第一出版	A 5	昭24 一、〇〇〇
75 希臘彌刻模倣論	レーヴィ	創元社	B 6	昭24 一、〇〇〇
76 グレコとベラスケス	黒田重太郎	アルス	B 6	昭24 一、〇〇〇
77 三輪福松	ウジエース・ダビ	筑摩	B 6	昭24 一、〇〇〇
78 雪華社	昭24 一、〇〇〇			
79 油絵の實技上	石井柏亭	アトリエ社	A 5	昭24 一、〇〇〇
80 希臘彌刻史	レーヴィ	創元社	B 6	昭24 一、〇〇〇
81 希臘彌刻模倣論	シラクサ	創元社	B 6	昭24 一、〇〇〇
82 朝鮮の巨匠達 第一部	日本美術出版社	岩波	A 5	昭24 一、〇〇〇
83 朝鮮の巨匠達 第二部	日本美術出版社	岩波	A 5	昭24 一、〇〇〇
84 朝鮮の巨匠達 第三部	日本美術出版社	岩波	A 5	昭24 一、〇〇〇
85 朝鮮の巨匠達 第四部	日本美術出版社	岩波	A 5	昭24 一、〇〇〇
86 朝鮮の巨匠達 第五部	日本美術出版社	岩波	A 5	昭24 一、〇〇〇
87 朝鮮の巨匠達 第六部	日本美術出版社	岩波	A 5	昭24 一、〇〇〇
88 朝鮮の巨匠達 第七部	日本美術出版社	岩波	A 5	昭24 一、〇〇〇
89 朝鮮の巨匠達 第八部	日本美術出版社	岩波	A 5	昭24 一、〇〇〇
90 朝鮮の巨匠達 第九部	日本美術出版社	岩波	A 5	昭24 一、〇〇〇
91 朝鮮の巨匠達 第十部	日本美術出版社	岩波	A 5	昭24 一、〇〇〇
92 朝鮮の巨匠達 第十一部	日本美術出版社	岩波	A 5	昭24 一、〇〇〇
93 朝鮮の巨匠達 第十二部	日本美術出版社	岩波	A 5	昭24 一、〇〇〇
94 朝鮮の巨匠達 第十三部	日本美術出版社	岩波	A 5	昭24 一、〇〇〇
95 朝鮮の巨匠達 第十四部	日本美術出版社	岩波	A 5	昭24 一、〇〇〇
96 音楽の構成と鑑賞	金剛巖	南画鑑賞会	B 6	昭24 一、〇〇〇
97 音楽の構成と鑑賞	金剛巖	南画鑑賞会	B 6	昭24 一、〇〇〇
98 音楽の構成と鑑賞	金剛巖	南画鑑賞会	B 6	昭24 一、〇〇〇
99 音楽の構成と鑑賞	金剛巖	南画鑑賞会	B 6	昭24 一、〇〇〇
100 音楽の構成と鑑賞	金剛巖	南画鑑賞会	B 6	昭24 一、〇〇〇
101 音楽の構成と鑑賞	金剛巖	南画鑑賞会	B 6	昭24 一、〇〇〇
102 音楽の構成と鑑賞	金剛巖	南画鑑賞会	B 6	昭24 一、〇〇〇
103 音楽の構成と鑑賞	金剛巖	南画鑑賞会	B 6	昭24 一、〇〇〇
104 音楽の構成と鑑賞	金剛巖	南画鑑賞会	B 6	昭24 一、〇〇〇
105 音楽の構成と鑑賞	金剛巖	南画鑑賞会	B 6	昭24 一、〇〇〇
106 音楽の構成と鑑賞	金剛巖	南画鑑賞会	B 6	昭24 一、〇〇〇
107 音楽の構成と鑑賞	金剛巖	南画鑑賞会	B 6	昭24 一、〇〇〇
108 音楽の構成と鑑賞	金剛巖	南画鑑賞会	B 6	昭24 一、〇〇〇
109 音楽の構成と鑑賞	金剛巖	南画鑑賞会	B 6	昭24 一、〇〇〇
110 音楽の構成と鑑賞	金剛巖	南画鑑賞会	B 6	昭24 一、〇〇〇
111 音楽の構成と鑑賞	金剛巖	南画鑑賞会	B 6	昭24 一、〇〇〇
112 音楽の構成と鑑賞	金剛巖	南画鑑賞会	B 6	昭24 一、〇〇〇
113 音楽の構成と鑑賞	金剛巖	南画鑑賞会	B 6	昭24 一、〇〇〇
114 音楽の構成と鑑賞	金剛巖	南画鑑賞会	B 6	昭24 一、〇〇〇
115 音楽の構成と鑑賞	金剛巖	南画鑑賞会	B 6	昭24 一、〇〇〇
116 音楽の構成と鑑賞	金剛巖	南画鑑賞会	B 6	昭24 一、〇〇〇
117 音楽の構成と鑑賞	金剛巖	南画鑑賞会	B 6	昭24 一、〇〇〇
118 音楽の構成と鑑賞	金剛巖	南画鑑賞会	B 6	昭24 一、〇〇〇
119 音楽の構成と鑑賞	金剛巖	南画鑑賞会	B 6	昭24 一、〇〇〇
120 音楽の構成と鑑賞	金剛巖	南画鑑賞会	B 6	昭24 一、〇〇〇
121 音楽の構成と鑑賞	金剛巖	南画鑑賞会	B 6	昭24 一、〇〇〇
122 音楽の構成と鑑賞	金剛巖	南画鑑賞会	B 6	昭24 一、〇〇〇
123 音楽の構成と鑑賞	金剛巖	南画鑑賞会	B 6	昭24 一、〇〇〇
124 音楽の構成と鑑賞	金剛巖	南画鑑賞会	B 6	昭24 一、〇〇〇
125 音楽の構成と鑑賞	金剛巖	南画鑑賞会	B 6	昭24 一、〇〇〇
126 音楽の構成と鑑賞	金剛巖	南画鑑賞会	B 6	昭24 一、〇〇〇
127 音楽の構成と鑑賞	金剛巖	南画鑑賞会	B 6	昭24 一、〇〇〇
128 音楽の構成と鑑賞	金剛巖	南画鑑賞会	B 6	昭24 一、〇〇〇
129 音楽の構成と鑑賞	金剛巖	南画鑑賞会	B 6	昭24 一、〇〇〇
130 音楽の構成と鑑賞	金剛巖	南画鑑賞会	B 6	昭24 一、〇〇〇
131 音楽の構成と鑑賞	金剛巖	南画鑑賞会	B 6	昭24 一、〇〇〇
132 音楽の構成と鑑賞	金剛巖	南画鑑賞会	B 6	昭24 一、〇〇〇
133 音楽の構成と鑑賞	金剛巖	南画鑑賞会	B 6	昭24 一、〇〇〇
134 音楽の構成と鑑賞	金剛巖	南画鑑賞会	B 6	昭24 一、〇〇〇
135 音楽の構成と鑑賞	金剛巖	南画鑑賞会	B 6	昭24 一、〇〇〇
136 音楽の構成と鑑賞	金剛巖	南画鑑賞会	B 6	昭24 一、〇〇〇
137 音楽の構成と鑑賞	金剛巖	南画鑑賞会	B 6	昭24 一、〇〇〇
138 音楽の構成と鑑賞	金剛巖	南画鑑賞会	B 6	昭24 一、〇〇〇
139 音楽の構成と鑑賞	金剛巖	南画鑑賞会	B 6	昭24 一、〇〇〇
140 音楽の構成と鑑賞	金剛巖	南画鑑賞会	B 6	昭24 一、〇〇〇
141 音楽の構成と鑑賞	金剛巖	南画鑑賞会	B 6	昭24 一、〇〇〇
142 音楽の構成と鑑賞	金剛巖	南画鑑賞会	B 6	昭24 一、〇〇〇
143 音楽の構成と鑑賞	金剛巖	南画鑑賞会	B 6	昭24 一、〇〇〇
144 音楽の構成と鑑賞	金剛巖	南画鑑賞会	B 6	昭24 一、〇〇〇
145 音楽の構成と鑑賞	金剛巖	南画鑑賞会	B 6	昭24 一、〇〇〇
146 音楽の構成と鑑賞	金剛巖	南画鑑賞会	B 6	昭24 一、〇〇〇
147 音楽の構成と鑑賞	金剛巖	南画鑑賞会	B 6	昭24 一、〇〇〇
148 音楽の構成と鑑賞	金剛巖	南画鑑賞会	B 6	昭24 一、〇〇〇
149 音楽の構成と鑑賞	金剛巖	南画鑑賞会	B 6	昭24 一、〇〇〇
150 音楽の構成と鑑賞	金剛巖	南画鑑賞会	B 6	昭24 一、〇〇〇
151 音楽の構成と鑑賞	金剛巖	南画鑑賞会	B 6	昭24 一、〇〇〇
152 音楽の構成と鑑賞	金剛巖	南画鑑賞会	B 6	昭24 一、〇〇〇
153 音楽の構成と鑑賞	金剛巖	南画鑑賞会	B 6	昭24 一、〇〇〇
154 音楽の構成と鑑賞	金剛巖	南画鑑賞会	B 6	昭24 一、〇〇〇
155 音楽の構成と鑑賞	金剛巖	南画鑑賞会	B 6	昭24 一、〇〇〇
156 音楽の構成と鑑賞	金剛巖	南画鑑賞会	B 6	昭24 一、〇〇〇
157 音楽の構成と鑑賞	金剛巖	南画鑑賞会	B 6	昭24 一、〇〇〇
158 音楽の構成と鑑賞	金剛巖	南画鑑賞会	B 6	昭24 一、〇〇〇
159 音楽の構成と鑑賞	金剛巖	南画鑑賞会	B 6	昭24 一、〇〇〇
160 音楽の構成と鑑賞	金剛巖	南画鑑賞会	B 6	昭24 一、〇〇〇
161 音楽の構成と鑑賞	金剛巖	南画鑑賞会	B 6	昭24 一、〇〇〇
162 音楽の構成と鑑賞	金剛巖	南画鑑賞会	B 6	昭24 一、〇〇〇
163 音楽の構成と鑑賞	金剛巖	南画鑑賞会	B 6	昭24 一、〇〇〇
164 音楽の構成と鑑賞	金剛巖	南画鑑賞会	B 6	昭24 一、〇〇〇
165 音楽の構成と鑑賞	金剛巖	南画鑑賞会	B 6	昭24 一、〇〇〇
166 音楽の構成と鑑賞	金剛巖	南画鑑賞会	B 6	昭24 一、〇〇〇
167 音楽の構成と鑑賞	金剛巖	南画鑑賞会	B 6	昭24 一、〇〇〇
168 音楽の構成と鑑賞	金剛巖	南画鑑賞会	B 6	昭24 一、〇〇〇
169 音楽の構成と鑑賞	金剛巖	南画鑑賞会	B 6	昭24 一、〇〇〇
170 音楽の構成と鑑賞	金剛巖	南画鑑賞会	B 6	昭24 一、〇〇〇
171 音楽の構成と鑑賞	金剛巖	南画鑑賞会	B 6	昭24 一、〇〇〇
172 音楽の構成と鑑賞	金剛巖	南画鑑賞会	B 6	昭24 一、〇〇〇
173 音楽の構成と鑑賞	金剛巖	南画鑑賞会	B 6	昭24 一、〇〇〇
174 音楽の構成と鑑賞	金剛巖	南画鑑賞会	B 6	昭24 一、〇〇〇
175 音楽の構成と鑑賞	金剛巖	南画鑑賞会	B 6	昭24 一、〇〇〇
176 音楽の構成と鑑賞	金剛巖	南画鑑賞会	B 6	昭24 一、〇〇〇
177 音楽の構成と鑑賞	金剛巖	南画鑑賞会	B 6	昭24 一、〇〇〇
178 音楽の構成と鑑賞	金剛巖	南画鑑賞会	B 6	昭24 一、〇〇〇
179 音楽の構成と鑑賞	金剛巖	南画鑑賞会	B 6	昭24 一、〇〇〇
180 音楽の構成と鑑賞	金剛巖	南画鑑賞会	B 6	昭24 一、〇〇〇
181 音楽の構成と鑑賞	金剛巖	南画鑑賞会	B 6	昭24 一、〇〇〇
182 音楽の構成と鑑賞	金剛巖	南画鑑賞会	B 6	昭24 一、〇〇〇
183 音楽の構成と鑑賞	金剛巖	南画鑑賞会	B 6	昭24 一、〇〇〇
184 音楽の構成と鑑賞	金剛巖	南画鑑賞会	B 6	昭24 一、〇〇〇
185 音楽の構成と鑑賞	金剛巖	南画鑑賞会	B 6	昭24 一、〇〇〇
186 音楽の構成と鑑賞	金剛巖	南画鑑賞会	B 6	昭24 一、〇〇〇
187 音楽の構成と鑑賞	金剛巖	南画鑑賞会	B 6	昭24 一、〇〇〇
188 音楽の構成と鑑賞	金剛巖	南画鑑賞会	B 6	昭24 一、〇〇〇
189 音楽の構成と鑑賞	金剛巖			

二
604

京都市中京区河原町通六角下ル

赤尾照文堂

京都市中京区河原町通六角下ル

赤尾照文堂

電話(〇七五)二二二一五一八八
振替京都三三二六

冠婚葬祭新聞社

日本山海名産図会

魚河岸百年編纂委員会

名著刊行会

1 大乘院寺社雜事記 摄12冊

増補續史料大成 昭53年

昭53年

昭53年

昭53年

2 多聞院日記 摄5冊

増補續史料大成 昭53年

昭53年

昭53年

昭53年

3 蔭涼軒日錄 摄5冊

增補續史料大成 昭53年

昭53年

昭53年

昭53年

4 愚管記 小右記 摄4冊

增補續史料大成 昭53年

昭53年

昭53年

昭53年

5 武家名目抄 筆の御靈 摄3冊

增補續史料大成 昭53年

昭53年

昭53年

昭53年

6 武家名目抄 筆の御靈 摄2冊

增補續史料大成 昭53年

昭53年

昭53年

昭53年

7 甲組類鑑 摄3冊

增補續史料大成 昭53年

昭53年

昭53年

昭53年

8 甲組類鑑 摄2冊

增補續史料大成 昭53年

昭53年

昭53年

昭53年

9 日本風俗史類聚近世風俗志 摄3冊

增補續史料大成 昭53年

昭53年

昭53年

昭53年

10 日本風俗史類聚近世風俗志 摄2冊

增補續史料大成 昭53年

昭53年

昭53年

昭53年

11 日本風俗史類聚近世風俗志 摄2冊

增補續史料大成 昭53年

昭53年

昭53年

昭53年

12 民間風俗年中行事 摄2冊

增補續史料大成 昭53年

昭53年

昭53年

昭53年

13 日本風俗史研究 摄2冊

增補續史料大成 昭53年

昭53年

昭53年

昭53年

14 日本風俗史研究 摄2冊

增補續史料大成 昭53年

昭53年

昭53年

昭53年

15 日本風俗史研究 摄2冊

增補續史料大成 昭53年

昭53年

昭53年

昭53年

16 日本風俗史研究 摄2冊

增補續史料大成 昭53年

昭53年

昭53年

昭53年

17 日本風俗史研究 摄2冊

增補續史料大成 昭53年

昭53年

昭53年

昭53年

18 日本風俗史研究 摄2冊

增補續史料大成 昭53年

昭53年

昭53年

昭53年

19 日本風俗史研究 摄2冊

增補續史料大成 昭53年

昭53年

昭53年

昭53年

20 日本風俗史研究 摄2冊

增補續史料大成 昭53年

昭53年

昭53年

昭53年

21 日本風俗史研究 摄2冊

增補續史料大成 昭53年

昭53年

昭53年

昭53年

22 日本風俗史研究 摄2冊

增補續史料大成 昭53年

昭53年

昭53年

昭53年

23 日本風俗史研究 摄2冊

增補續史料大成 昭53年

昭53年

昭53年

昭53年

24 日本風俗史研究 摄2冊

增補續史料大成 昭53年

昭53年

昭53年

昭53年

25 日本風俗史研究 摄2冊

增補續史料大成 昭53年

昭53年

昭53年

昭53年

26 日本風俗史研究 摄2冊

增補續史料大成 昭53年

昭53年

昭53年

昭53年

27 日本風俗史研究 摄2冊

增補續史料大成 昭53年

昭53年

昭53年

昭53年

28 日本風俗史研究 摄2冊

增補續史料大成 昭53年

昭53年

昭53年

昭53年

29 日本風俗史研究 摄2冊

增補續史料大成 昭53年

昭53年

昭53年

昭53年

30 日本風俗史研究 摄2冊

增補續史料大成 昭53年

昭53年

昭53年

昭53年

31 日本風俗史研究 摄2冊

增補續史料大成 昭53年

昭53年

昭53年

昭53年

32 法服格正の研究 摄2冊

增補續史料大成 昭53年

昭53年

昭53年

昭53年

33 法服格正の研究 摄2冊

增補續史料大成 昭53年

昭53年

昭53年

昭53年

34 法服格正の研究 摄2冊

增補續史料大成 昭53年

昭53年

昭53年

昭53年

35 法服格正の研究 摄2冊

增補續史料大成 昭53年

昭53年

昭53年

昭53年

36 法服格正の研究 摄2冊

增補續史料大成 昭53年

昭53年

昭53年

昭53年

37 法服格正の研究 摄2冊

增補續史料大成 昭53年

昭53年

昭53年

昭53年

38 法服格正の研究 摄2冊

增補續史料大成 昭53年

昭53年

昭53年

昭53年

39 法服格正の研究 摄2冊

增補續史料大成 昭53年

昭53年

昭53年

昭53年

40 法服格正の研究 摄2冊

增補續史料大成 昭53年

昭53年

昭53年

昭53年

41 法服格正の研究 摄2冊

增補續史料大成 昭53年

昭53年

昭53年

昭53年

42 法服格正の研究 摄2冊

增補續史料大成 昭53年

昭53年

昭53年

昭53年

43 法服格正の研究 摄2冊

增補續史料大成 昭53年

昭53年

昭53年

昭53年

44 法服格正の研究 摄2冊

增補續史料大成 昭53年

昭53年

昭53年

昭53年

45 法服格正の研究 摄2冊

增補續史料大成 昭53年

昭53年

昭53年

昭53年

46 法服格正の研究 摄2冊

增補續史料大成 昭53年

昭53年

昭53年

昭53年

47 法服格正の研究 摄2冊

增補續史料大成 昭53年

昭53年

昭53年

昭53年

48 法服格正の研究 摄2冊

增補續史料大成 昭53年

昭53年

昭53年

昭53年

49 法服格正の研究 摄2冊

增補續史料大成 昭53年

昭53年

昭53年

昭53年

50 法服格正の研究 摄2冊

增補續史料大成 昭53年

昭53年

昭53年

昭53年

51 法服格正の研究 摄2冊

增補續史料大成 昭53年

昭53年

昭53年

昭53年

52 法服格正の研究 摄2冊

增補續史料大成 昭53年

昭53年

昭53年

昭53年

53 法服格正の研究 摄2冊

增補續史料大成 昭53年

昭53年

昭53年

昭53年

54 法服格正の研究 摄2冊

增補續史料大成 昭53年

昭53年

昭53年

昭53年

55 法服格正の研究 摄2冊

增補續史料大成 昭53年

昭53年

昭53年

昭53年

56 法服格正の研究 摄2冊

增補續史料大成 昭53年

昭53年

昭53年

昭53年

57 法服格正の研究 摄2冊

增補續史料大成 昭53年

昭53年

昭53年

昭53年

58 法服格正の研究 摄2冊

增補續史料大成 昭53年

昭53年

昭53年

昭53年

59 法服格正の研究 摄2冊

增補續史料大成 昭53年

昭53年

昭53年

昭53年

60 法服格正の研究 摄2冊

增補續史料大成 昭53年

昭53年

昭53年

昭53年

61 法服格正の研究 摄2冊

増補續史料大成 昭53年

昭53年

昭53

〒604

京都市中京区河原町通三条上ル
(朝日会館前)

キ ク 才 書 店

当店は洋書・歴史・郷土史・民族・民俗・東洋・南洋・山岳・探検書に力を入れて売買しております。
本号は北東アジア・中国の史・誌・民俗を特集

1 東方文化研究所	京都第一五番地第三分	昭19・20	大	四、五〇〇	
2 東方学報	京都第四十一冊	昭45	八、四〇〇		
3 東方學報	京都第四十二冊	昭46	三、四〇〇		
4 東洋人文学報	京帝大人文研(第二卷二号) 極七冊	昭16三、三〇〇			
5 亜細亞大觀	(二卷一〇号より五九号まで)	昭20	三、四〇〇		
6 羽田博士史論文集	羽田 享 二冊	昭32	三、四〇〇		
7 東亜文化史叢考	石田幹之助 東洋文庫	昭48	三、四〇〇		
8 東洋史論叢	榎博士還暦記念 山川出版	昭50	八、四〇〇		
9 東洋史集説	和田清 加藤博士還暦記念 和田清 生活社	昭16	二、二〇〇		
10 東亜史論叢	和田清 生活社	昭17	二、二〇〇		
11 東洋史研究	内藤虎次郎 東洋史論叢(横尾安夫編)	昭19	一、二〇〇		
12 東洋文化史研究	内藤龍藏 平凡社	昭15	一、二〇〇		
13 東西交通史論叢	弘文堂書房 星野書店	昭17	一、二〇〇		
14 東亜古文化研究	桑原隠藏 石田淑人	昭19	一、二〇〇		
15 東洋史統	市村壇次郎 市村壇次郎	昭17	一、二〇〇		
16 東亜民族(一)	鳥居龍藏 理想社	昭15	一、二〇〇		
17 東亜歴史大系(一)	平凡社	昭15	一、二〇〇		
18 東亜考古学論叢(第二)	梅原未治 星野書店	昭19	一、二〇〇		
19 東亜考古学概観	梅原未治 星野書店	昭24	一、二〇〇		
20 支那考古学論叢	梅原未治 星野書店	昭13	一、二〇〇		
21 黄土地帯(北支那)自然との文化	アンドーソン著 昭17	一、二〇〇			
22 支那研究	望月支那研究基金編 岩波書店	昭5	一、二〇〇		
23 支那研究	市村壇次郎 九冊揃	大6	六、〇〇〇		
24 支那古代史論	富山房(麻糸印) 昭45	六、四〇〇			
25 支那考古学	恒星社 昭5	六、四〇〇			
26 古代支那研究	小島祐馬	昭18	五、〇〇〇		
27 最新支那通志	恒星社	昭5	五、〇〇〇		
28 支那考古学	飯島忠夫	昭18	五、〇〇〇		
29 支那研究	小島祐馬	昭20	五、〇〇〇		
30 支那研究	支那研究双書	東亜実進社	昭22	六、〇〇〇	
31 支那古代史論	支那古代史論	支那古代史論	昭26	六、〇〇〇	
32 支那考古学	支那考古学	支那考古学	昭23	六、〇〇〇	
33 支那考古学	支那考古学	支那考古学	昭23	六、〇〇〇	
34 支那の民族	山縣初男	富山房	昭22	六、〇〇〇	
35 支那の民族	支那の民族	支那の民族	昭24	六、〇〇〇	
36 支那の民族	支那の民族	支那の民族	昭24	六、〇〇〇	
37 支那の民族	支那の民族	支那の民族	昭24	六、〇〇〇	
38 支那の民族	支那の民族	支那の民族	昭24	六、〇〇〇	
39 支那の民族	支那の民族	支那の民族	昭24	六、〇〇〇	
40 支那の民族	支那の民族	支那の民族	昭24	六、〇〇〇	
41 支那の民族	支那の民族	支那の民族	昭24	六、〇〇〇	
42 支那の民族	支那の民族	支那の民族	昭24	六、〇〇〇	
43 支那の民族	支那の民族	支那の民族	昭24	六、〇〇〇	
44 支那の民族	支那の民族	支那の民族	昭24	六、〇〇〇	
45 支那の民族	支那の民族	支那の民族	昭24	六、〇〇〇	
46 支那の民族	支那の民族	支那の民族	昭24	六、〇〇〇	
47 支那の民族	支那の民族	支那の民族	昭24	六、〇〇〇	
48 支那の民族	支那の民族	支那の民族	昭24	六、〇〇〇	
49 支那の民族	支那の民族	支那の民族	昭24	六、〇〇〇	
50 支那の民族	支那の民族	支那の民族	昭24	六、〇〇〇	
51 支那の民族	支那の民族	支那の民族	昭24	六、〇〇〇	
52 支那の民族	支那の民族	支那の民族	昭24	六、〇〇〇	
53 支那の民族	支那の民族	支那の民族	昭24	六、〇〇〇	
54 支那の民族	支那の民族	支那の民族	昭24	六、〇〇〇	
55 支那の民族	支那の民族	支那の民族	昭24	六、〇〇〇	
56 支那の民族	支那の民族	支那の民族	昭24	六、〇〇〇	
57 支那の民族	支那の民族	支那の民族	昭24	六、〇〇〇	
58 支那の民族	支那の民族	支那の民族	昭24	六、〇〇〇	
59 支那の民族	支那の民族	支那の民族	昭24	六、〇〇〇	
60 支那の民族	支那の民族	支那の民族	昭24	六、〇〇〇	
61 支那の民族	支那の民族	支那の民族	昭24	六、〇〇〇	
62 支那の民族	支那の民族	支那の民族	昭24	六、〇〇〇	
63 支那の民族	支那の民族	支那の民族	昭24	六、〇〇〇	
64 支那の民族	支那の民族	支那の民族	昭24	六、〇〇〇	
65 支那の民族	支那の民族	支那の民族	昭24	六、〇〇〇	
66 支那の民族	支那の民族	支那の民族	昭24	六、〇〇〇	
67 支那の民族	支那の民族	支那の民族	昭24	六、〇〇〇	
68 支那の民族	支那の民族	支那の民族	昭24	六、〇〇〇	
69 支那の民族	支那の民族	支那の民族	昭24	六、〇〇〇	
70 支那の民族	支那の民族	支那の民族	昭24	六、〇〇〇	
71 支那の民族	支那の民族	支那の民族	昭24	六、〇〇〇	
72 支那の民族	支那の民族	支那の民族	昭24	六、〇〇〇	
73 支那の民族	支那の民族	支那の民族	昭24	六、〇〇〇	
74 支那の民族	支那の民族	支那の民族	昭24	六、〇〇〇	
75 支那の民族	支那の民族	支那の民族	昭24	六、〇〇〇	
76 支那の民族	支那の民族	支那の民族	昭24	六、〇〇〇	
77 支那の民族	支那の民族	支那の民族	昭24	六、〇〇〇	
78 支那の民族	支那の民族	支那の民族	昭24	六、〇〇〇	
79 支那の民族	支那の民族	支那の民族	昭24	六、〇〇〇	
80 支那の民族	支那の民族	支那の民族	昭24	六、〇〇〇	
81 支那の民族	支那の民族	支那の民族	昭24	六、〇〇〇	
82 支那の民族	支那の民族	支那の民族	昭24	六、〇〇〇	
83 支那の民族	支那の民族	支那の民族	昭24	六、〇〇〇	
84 支那の民族	支那の民族	支那の民族	昭24	六、〇〇〇	
85 支那の民族	支那の民族	支那の民族	昭24	六、〇〇〇	
86 支那の民族	支那の民族	支那の民族	昭24	六、〇〇〇	
87 支那の民族	支那の民族	支那の民族	昭24	六、〇〇〇	
88 支那の民族	支那の民族	支那の民族	昭24	六、〇〇〇	
89 支那の民族	支那の民族	支那の民族	昭24	六、〇〇〇	
90 支那の民族	支那の民族	支那の民族	昭24	六、〇〇〇	
91 支那の民族	支那の民族	支那の民族	昭24	六、〇〇〇	
92 支那の民族	支那の民族	支那の民族	昭24	六、〇〇〇	
93 支那の民族	支那の民族	支那の民族	昭24	六、〇〇〇	
94 支那の民族	支那の民族	支那の民族	昭24	六、〇〇〇	
95 支那の民族	支那の民族	支那の民族	昭24	六、〇〇〇	
96 支那の民族	支那の民族	支那の民族	昭24	六、〇〇〇	
97 支那の民族	支那の民族	支那の民族	昭24	六、〇〇〇	
98 支那の民族	支那の民族	支那の民族	昭24	六、〇〇〇	
99 支那の民族	支那の民族	支那の民族	昭24	六、〇〇〇	
100 支那の民族	支那の民族	支那の民族	昭24	六、〇〇〇	
101 支那の民族	支那の民族	支那の民族	昭24	六、〇〇〇	
102 支那の民族	支那の民族	支那の民族	昭24	六、〇〇〇	
103 支那の民族	支那の民族	支那の民族	昭24	六、〇〇〇	
104 支那の民族	支那の民族	支那の民族	昭24	六、〇〇〇	
105 支那の民族	支那の民族	支那の民族	昭24	六、〇〇〇	
106 支那の民族	支那の民族	支那の民族	昭24	六、〇〇〇	
107 支那の民族	支那の民族	支那の民族	昭24	六、〇〇〇	
108 支那の民族	支那の民族	支那の民族	昭24	六、〇〇〇	
109 支那の民族	支那の民族	支那の民族	昭24	六、〇〇〇	
110 支那の民族	支那の民族	支那の民族	昭24	六、〇〇〇	
111 支那の民族	支那の民族	支那の民族	昭24	六、〇〇〇	
112 支那の民族	支那の民族	支那の民族	昭24	六、〇〇〇	
113 支那の民族	支那の民族	支那の民族	昭24	六、〇〇〇	
114 支那の民族	支那の民族	支那の民族	昭24	六、〇〇〇	
115 支那の民族	支那の民族	支那の民族	昭24	六、〇〇〇	
116 支那の民族	支那の民族	支那の民族	昭24	六、〇〇〇	
117 支那の民族	支那の民族	支那の民族	昭24	六、〇〇〇	
118 支那の民族	支那の民族	支那の民族	昭24	六、〇〇〇	
119 支那の民族	支那の民族	支那の民族	昭24	六、〇〇〇	
120 支那の民族	支那の民族	支那の民族	昭24	六、〇〇〇	
121 支那の民族	支那の民族	支那の民族	昭24	六、〇〇〇	
122 支那の民族	支那の民族	支那の民族	昭24	六、〇〇〇	
123 支那の民族	支那の民族	支那の民族	昭24	六、〇〇〇	
124 支那の民族	支那の民族	支那の民族	昭24	六、〇〇〇	
125 支那の民族	支那の民族	支那の民族	昭24	六、〇〇〇	
126 支那の民族	支那の民族	支那の民族	昭24	六、〇〇〇	
127 支那の民族	支那の民族	支那の民族	昭24	六、〇〇〇	
128 支那の民族	支那の民族	支那の民族	昭24	六、〇〇〇	
129 支那の民族	支那の民族	支那の民族	昭24	六、〇〇〇	
130 支那の民族	支那の民族	支那の民族	昭24	六、〇〇〇	
131 支那の民族	支那の民族	支那の民族	昭24	六、〇〇〇	
132 支那の民族	支那の民族	支那の民族	昭24	六、〇〇〇	
133 支那の民族	支那の民族	支那の民族	昭24	六、〇〇〇	
134 支那の民族	支那の民族	支那の民族	昭24	六、〇〇〇	
135 支那の民族	支那の民族	支那の民族	昭24	六、〇〇〇	
136 支那の民族	支那の民族	支那の民族	昭24	六、〇〇〇	
137 支那の民族	支那の民族	支那の民族	昭24	六、〇〇〇	
138 支那の民族	支那の民族	支那の民族	昭24	六、〇〇〇	
139 支那の民族	支那の民族	支那の民族	昭24	六、〇〇〇	
140 支那の民族	支那の民族	支那の民族	昭24	六、〇〇〇	
141 支那の民族	支那の民族	支那の民族	昭24	六、〇〇〇	
142 支那の民族	支那の民族	支那の民族	昭24	六、〇〇〇	
143 支那の民族	支那の民族	支那の民族	昭24	六、〇〇〇	
144 支那の民族	支那の民族	支那の民族	昭24	六、〇〇〇	
145 支那の民族	支那の民族	支那の民族	昭24	六、〇〇〇	
146 支那の民族	支那の民族	支那の民族	昭24	六、〇〇〇	
147 支那の民族	支那の民族	支那の民族	昭24	六、〇〇〇	
148 支那の民族	支那の民族	支那の民族	昭24	六、〇〇〇	
149 支那の民族	支那の民族	支那の民族	昭24	六、〇〇〇	
150 支那の民族	支那の民族	支那の民族	昭24	六、〇〇〇	
151 支那の民族	支那の民族	支那の民族	昭24	六、〇〇〇	
152 支那の民族	支那の民族	支那の民族	昭24	六、〇〇〇	
153 支那の民族	支那の民族	支那の民族	昭24	六、〇〇〇	
154 支那の民族	支那の民族	支那の民族	昭24	六、〇〇〇	
155 支那の民族	支那の民族	支那の民族	昭24	六、〇〇〇	
156 支那の民族	支那の民族	支那の民族	昭24	六、〇〇〇	
157 支那の民族	支那の民族	支那の民族	昭24	六、〇〇〇	
158 支那の民族	支那の民族	支那の民族	昭24	六、〇〇〇	
159 支那の民族	支那の民族	支那の民族	昭24	六、〇〇〇	
160 支那の民族	支那の民族	支那の民族	昭24	六、〇〇〇	
161 支那の民族	支那の民族	支那の民族	昭24	六、〇〇〇	
162 支那の民族	支那の民族	支那の民族	昭24	六、〇〇〇	
163 支那の民族	支那の民族	支那の民族	昭24	六、〇〇〇	
164 支那の民族	支那の民族	支那の民族	昭24	六、〇〇〇	
165 支那の民族	支那の民族	支那の民族	昭24	六、〇〇〇	
166 支那の民族	支那の民族	支那の民族	昭24	六、〇〇〇	
167 支那の民族	支那の民族	支那の民族	昭24	六、〇〇〇	
168 支那の民族	支那の民族	支那の民族	昭24	六、〇〇〇	
169 支那の民族	支那の民族	支那の民族	昭24	六、〇〇〇	
170 支那の民族	支那の民族	支那の民族	昭24	六、〇〇〇	
171 支那の民族	支那の民族	支那の民族	昭24	六、〇〇〇	
172 支那の民族	支那の民族	支那の民族	昭24	六、〇〇〇	
173 支那の民族	支那の民族	支那の民族	昭24	六、〇〇〇	
174 支那の民族	支那の民族	支那の民族	昭24	六、〇〇〇	
175 支那の民族	支那の民族	支那の民族	昭24	六、〇〇〇	
176 支那の民族	支那の民族	支那の民族	昭24	六、〇〇〇	
177 支那の民族	支那の民族	支那の民族	昭24	六、〇〇〇	
178 支那の民族	支那の民族	支那の民族	昭24	六、〇〇〇	
179 支那の民族	支那の民族	支那の民族	昭24	六、〇〇〇	
180 支那の民族	支那の民族	支那の民族	昭24	六、〇〇〇	
181 支那の民族	支那の民族	支那の民族	昭24	六、〇〇〇	
182 支那の民族	支那の民族	支那の民族	昭24	六、〇〇〇	
183 支那の民族	支那の民族	支那の民族	昭24	六、〇〇〇	
184 支那の民族	支那の民族	支那の民族	昭24	六、〇〇〇	
185 支那の民族	支那の民族	支那の民族	昭24	六、〇〇〇	
186 支那の民族	支那の民族	支那の民族	昭24	六、〇〇〇	
187 支那の民族	支那の民族	支那の民族	昭24	六、〇〇〇	
188 支那の民族	支那の民族	支那の民族	昭24	六、〇〇〇	
189 支那の民族	支那の民族	支那の民族	昭24	六、〇〇〇	
190 支那の民族	支那の民族	支那の民族	昭24	六、〇〇〇	
191 支那の民族	支那の民族	支那の民族	昭24	六、〇〇〇	
192 支那の民族	支那の民族	支那の民族	昭24	六、〇〇〇	
193 支那の民族	支那の民族	支那の民族	昭24	六、〇〇〇	
194 支那の民族	支那の民族	支那の民族	昭24	六、〇〇〇	
195 支那の民族	支那の民族	支那の民族	昭24	六、〇〇〇	
196 支那の民族	支那の民族	支那の民族	昭24	六、〇〇〇	
197 支那の民族	支那の民族	支那の民族	昭24	六、〇〇〇	
198 支那の民族	支那の民族	支那の民族	昭24	六、〇〇〇	
199 支那の民族	支那の民族	支那の民族	昭24	六、〇〇〇	
200 支那の民族	支那の民族	支那の民族	昭24	六、〇〇〇	
201 支					

〒600

京都市下京区寺町通伝光寺下ル

三密堂書店

電話(075)351-1966
振替京都三四七一

絶讚好評

只今発売中

慈雲尊者法語

新刊
人となる道 全一冊

木南卓一著

A5版・四〇四頁 定価4000円 〒350円

◎内容——図版写真入——

慈雲尊者和歌集
(並鳥のそらね法語漢詩文抄)

木南卓一著

定価一八〇〇円
〒二五〇円A5版・四五二頁 消像書筆口絵写真入
年代順に「十善法語」十善戒作法縁起戒学要語
慈雲尊者の代表的名著として今なお重宝慈雲尊者——生涯と
その言葉——木南卓一著
定価一五〇〇円
〒二五〇円A5版・二五六頁 写真図版入 第四版
佛教思想史上最も偉大な人々の中の一人慈雲尊者
の生涯を歴史学的考察、現代人に近づけ紹介する。
◆尊者の人間像を知る上にも必読の書
◆尊者全集の中でも代表作として知られた
人間完成の近代的解明 遂に公開!

慈雲尊者全集同補遺の主なる内容

- 人登奈留道隨行記 上・下
- 人となる道略語に関するもの
- 雙龍大和上垂示 上・下
- 十善法語隨行記
- 依神道意述 諦漏和上撰
- 慈雲尊者年譜

十善法語
並闇聯法語
文 献定価三〇〇〇円
〒三五〇円

木南卓一著

A5版・四五二頁 消像書筆口絵写真入
年代順に「十善法語」十善戒作法縁起戒学要語
慈雲尊者の代表的名著として今なお重宝

慈雲尊者法語集

定価三〇〇〇円
〒三五〇円

木南卓一著

A5版・三七三頁 解説図版写真入
人となる道、十善法語、姉妹編

短篇法語、雙龍庵時代法語集について出家功德

梵字入門(基礎編) 定価五、〇〇〇円
悉曇習字の画期的宝典十八章草紙 松本俊彰著

〒五〇〇円

●梵字字母の書き方、切継の原則、塔婆の書き方種子集
十八章草紙(第八章以下の読み方書き方)松本俊彰著●梵字字母の書き方、切継の原則、塔婆の書き方種子集
十八章草紙(第八章以下の読み方書き方)松本俊彰著梵字入門(応用編) 定価七、五〇〇円
悉曇習字の画期的宝典十八章草紙 松本俊彰著

〒五〇〇円

●悉曇字記、字母积、連声集等の訓説、常用真言陀羅尼
原本 神光院所藏(折本)●悉曇字記、字母积、連声集等の訓説、常用真言陀羅尼
原本 神光院所藏(折本)智滿大和上真筆悉曇習字手本 定価一、五〇〇円
原本 増訂版 坂井栄信著●悉曇流梵書第一等の名手技術の精妙さ極めた復製
原本 増訂版 坂井栄信著梵字悉曇習字帖 定価三〇〇円
原本 增訂版 坂井栄信著●初心者に最も適した基本の筆法、近代的慈雲流筆書
原本 增訂版 坂井栄信著弘法大師諸弟子全集 定価二〇、〇〇〇円
原本 増訂版 坂井栄信著●弘法大師諸弟子全集 定価二〇、〇〇〇円
原本 増訂版 坂井栄信著真言宗安心全書 定価一五、〇〇〇円
原本 増訂版 坂井栄信著●真言宗安心全書 定価一五、〇〇〇円
原本 増訂版 坂井栄信著修驗道要典 定価六、〇〇〇円
原本 増訂版 坂井栄信著●修驗道要典 定価六、〇〇〇円
原本 増訂版 坂井栄信著修驗道の教理と大要 定価三、〇〇〇円
原本 増訂版 坂井栄信著●修驗道の教理と大要 定価三、〇〇〇円
原本 増訂版 坂井栄信著法華(戒名)引導表白集 定価二、〇〇〇円
原本 増訂版 坂井栄信著●法華(戒名)引導表白集 定価二、〇〇〇円
原本 増訂版 坂井栄信著地藏菩薩の研究 定価三、〇〇〇円
原本 増訂版 坂井栄信著●地藏菩薩の研究 定価三、〇〇〇円
原本 増訂版 坂井栄信著法華(戒名)引導表白集 定価二、〇〇〇円
原本 増訂版 坂井栄信著●法華(戒名)引導表白集 定価二、〇〇〇円
原本 増訂版 坂井栄信著

好評発売中

重版出来

明月記

全三巻

数多い伝本の中で善本とされる秘閣本、同補写本、野宮・冷泉・柳原各家本、黒川氏本、早稻田所蔵本の七種を校合して編纂した決定版！

● A5・クロス装・函入 摘価一六〇〇円

改訂公卿辞典 増補

坂本武雄編 坂本清和補訂／雅の世界に生きた中世以降の公卿二千余名の事蹟を纏めた辞典。改訂に当たり公家年表・系図、官位・官職一覧表を付す。

● A5・上製函入 五〇〇〇円

まぼろしの草戸千軒町 中世集落

村上正名著／「日本のポンペイ」といわれる草戸千軒遺蹟について、平易に解説した好著。

● A5・上製函入 三〇〇〇円

秋山國三先生京都地域史の研究
追悼論文集 同追悼会編／古来政治・経済・文化の中心であつた京都に関する、仲村研、朝尾朝弘らの論稿19篇を収録。

● A5・上製函入 七〇〇〇円

小社の書籍は注文制です。書店にご注文下さい。
〒170 東京都豊島区巣鴨3-5-18 ☎03(917)8287

国書刊行会

柴山全慶老師輯

註訓禪林句集 西部文淨著

A6 四五六頁 一、五〇〇円 〒一六〇円

茶席の禅語

B6 四三六頁 二、〇〇〇円 〒二〇〇円

仏教書取り揃えており
ます。 葉書にて御照会下さい。

〒604 京都市中京区寺町通三条北

其

中

堂

電話(075)233-1197-1番
振替 京都 五三八番

金子大栄著・広瀬果監修

二、〇〇〇円

く ズ カ ゴ

金子師が終戦から死の直前までに
したためられた詩・和歌・俳句・
散文・隨想等の形をとった宗教的
な思索を集録

大谷大学仏教学会編
業思想の研究

四、〇〇〇円

印度・中国・日本にわたる三国法
教の歴史の展開のなかに、業思想
に関する専門の立場からの学問的
な論稿(二十二篇)

野上俊静著
中國淨土三祖伝

二、五〇〇円

日本淨土教の源流とあおがれる聖
徳道綽・善導の伝記を平易に説
き、資料とともにその解説を收め
ている。(三版)

〒604 京都市中京区寺町通三条上
振替 京都2948 TEL 231-4712

明治二十九年（昭和十九年）

思文閣出版

〒606 京都市左京区田中関町2-7 / ☎ 075-751-178

集古

集古会編

復刻

合本八卷
別卷索引一卷

太平記諸本の研究

高橋貞一著

雑誌「集古」は、考古と歴史を愛する人々の集まり
「集古会」の会報である。少数の会員配布のため、
その全揃は今では入手困難となつてゐるが、今回そ
れを創刊号より全巻そろえて復刻。近世の学芸・史
伝・風俗を知るにはまたとない資料である。また別
巻として索引および集古会会員名簿を刊行し、読者
の便をはかる。

富士川游著作集

全十卷
富士川英郎編

日本医史学の開拓者として名高い著者は、文字通りの碩学で、医史学のみならず極めて広い領域にわたって数多くの研究論文を発表している。本著作集にはその中から主として医史学関係の著作、云記、考正類を収録する。

上村六郎染色著作集

全六卷

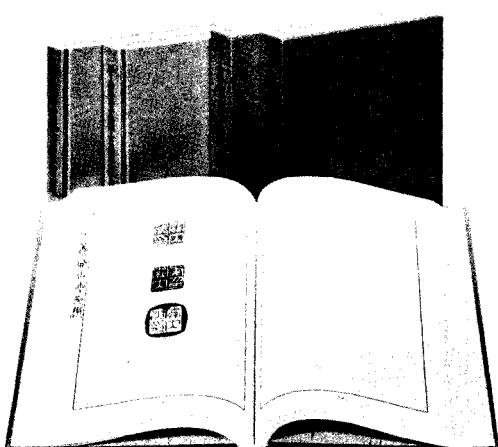
第三回(第二卷)萬葉染色書・萬葉染色の研究・西本中
永年にわたり広く深く染織を研究してきた著者の、多方面に発表された論文、
隨筆を集大成。古い文献を渉獣し、各國の染色を研究、化学の立場から染の
技術に解明を加える。また本書は、色という視点に立つ独自の書でもある。

▼A5判・各巻平均五〇〇頁／定価 各巻五、〇〇〇円・六、〇〇〇円

臨川書店

支店
 〒 606-1026 京都市左京区今出川通川端東
 千代田区飯田橋四一七六曙ビル
 075-781-6166
 03-263-4320
 代

好評發售中



■ 体裁

■ 体裁
の三種を各々影印、卷末に
冒の典型として、また中国
考古学・法制史研究に必
備の書である。

■ 定価 三五、〇〇〇円
各巻平均330頁・釈文13頁
全四冊・貼函入
朱・墨併刷十二巻
ロットンカラー白色紙使用
A5判洋装・上製背色布袋装

〈內容見本送呈〉

平
盒
攷
藏
古
璽
印
選

神田喜一郎監修／加藤慈雨樓編